インクジェットプリンタ E-530S E-530C E-530P

操作ガイド

■ 本製品の使い方全般について説明しています。
■ プリンタの準備がお済みでない方は『楽ラク入門ガイド』をご覧ください。
■ 本書はプリンタの近くに置いてご活用ください。
■ 本書では E-530S のイラストや画面を使用して説明していますが、E-530C、E-530P でも操作は同じです。

マニュアルについて

1	**『楽ラク入門ガイド』** 本製品のセットアップ～基本的なメモリカード印刷までの手順を説明しています。 また、楽しい機能の紹介や、知っておきたいポイントを掲載しています。

2	**『操作ガイド』（本書）** 本製品の使い方全般を説明しています。

3	**『パソコンでの印刷ガイド』（電子マニュアル）** パソコンとつないで使う場合の詳しい使い方や、もっと楽しく使う活用提案などを記載しています。また、インターネットを介してエプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手することができます。

4	**『よくわかる！カラリオガイド』（PDF マニュアル）** 本書中に （カラリオガイドがあることを示すアイコン）の表示がある機能を、よりわかりやすく説明した PDF 形式のマニュアルです。 エプソンのホームページからダウンロードしてご覧ください。 < http://www.epson.jp/support/ >

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

!重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		**この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。**
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**

設置上のご注意

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10〜35℃ 20〜80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。

⚠警告	
	本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

⚠注意	
	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。
	電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
	付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠警告	
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 ・電源コードを加工しない ・電源コードに重いものを載せない ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・熱器具の近くに配線しない
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

⚠注意	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

AC アダプタに関するご注意

⚠警告	
	指定の AC アダプタ（A381H）以外は使用しないでください。また、指定の AC アダプタを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	AC アダプタを取り扱う際は、以下の点を守ってください。 感電・火災のおそれがあります。 ・雨や水のかかる場所で使用しない ・電源コードで吊り下げない ・コネクタにクリップなどの金属性のものを接触させない ・布団などで覆わない

使用上のご注意

⚠警告	
	アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。
	開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。
	取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。 感電・火災のおそれがあります。

製品使用上のご注意（つづき）

⚠警告	
	航空機内や病院などの使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。
	お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
	布などで覆った状態で使用しないでください。 熱によるケースの変形や、感電・火災のおそれがあります。
	各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠注意	
	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。
	本製品とコンピュータ（または他の機器）を取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。
	電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。
	本製品を保管 / 輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。
	本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

用紙に関するご注意

⚠注意	
	印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意	
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 ・ 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 ・ 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 ・ 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
	インクカートリッジは子供の手の届かないところに保管してください。
	インクカートリッジを分解しないでください。 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
	インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。

■取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。
- インクカートリッジのラベル類は、絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、カートリッジ交換中に電源をオフにしたりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部分を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いている場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

バッテリに関するご注意

⚠危 険	
	分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災のおそれがあります。
	バッテリを他の機器や他の用途に転用しないでください。 バッテリや他の機器を損傷するおそれがあります。
	バッテリの＋と－を針金などの金属で接続（ショート）させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
	バッテリを火のそばや炎天下など、高温の場所（35℃以上）で使用・充電しないでください。また、35℃以上の場所に放置しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
	バッテリに強い衝撃を与えないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
	バッテリを火中または水中に投入しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。
	バッテリが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 放置すると目を傷めるおそれがあります。
	バッテリが漏液して液が皮膚に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。異常がある場合には、速やかに医師に相談してください。
	バッテリの使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱･発煙･破裂･発火・漏液などの異常に気が付いたときは、液に触れないようにして機器から取り外し、エプソンの修理窓口にご相談ください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠危険	
	バッテリを取り扱う際は、以下の点を守ってください。 感電・火災のおそれがあります。 • 金属部分に触らない • 電子レンジや高圧容器に入れない • 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめる
	指定のバッテリ（MEALB2）以外は使用しないでください。また、指定のバッテリを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠警告	
	子供の手の届く場所には、保管・放置しないでください。 バッテリを口に入れたり、飲み込んでしまうおそれがあります。 バッテリを飲み込んでしまったときは、速やかに医師に相談してください。
	バッテリの向きを逆にして本製品に入れないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・漏液のおそれがあります。

メモリカード使用時のご注意

■本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（付属のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

■動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

プリンタの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インクカートリッジ、バッテリの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

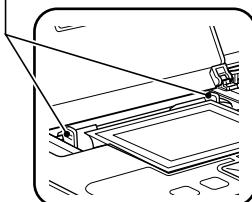
- 回収
  使用済みの消耗品は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 本書 112 ページ「インクカートリッジの回収について」
  ☞ 本書 142 ページ「バッテリの回収について」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

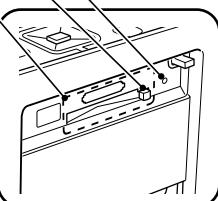
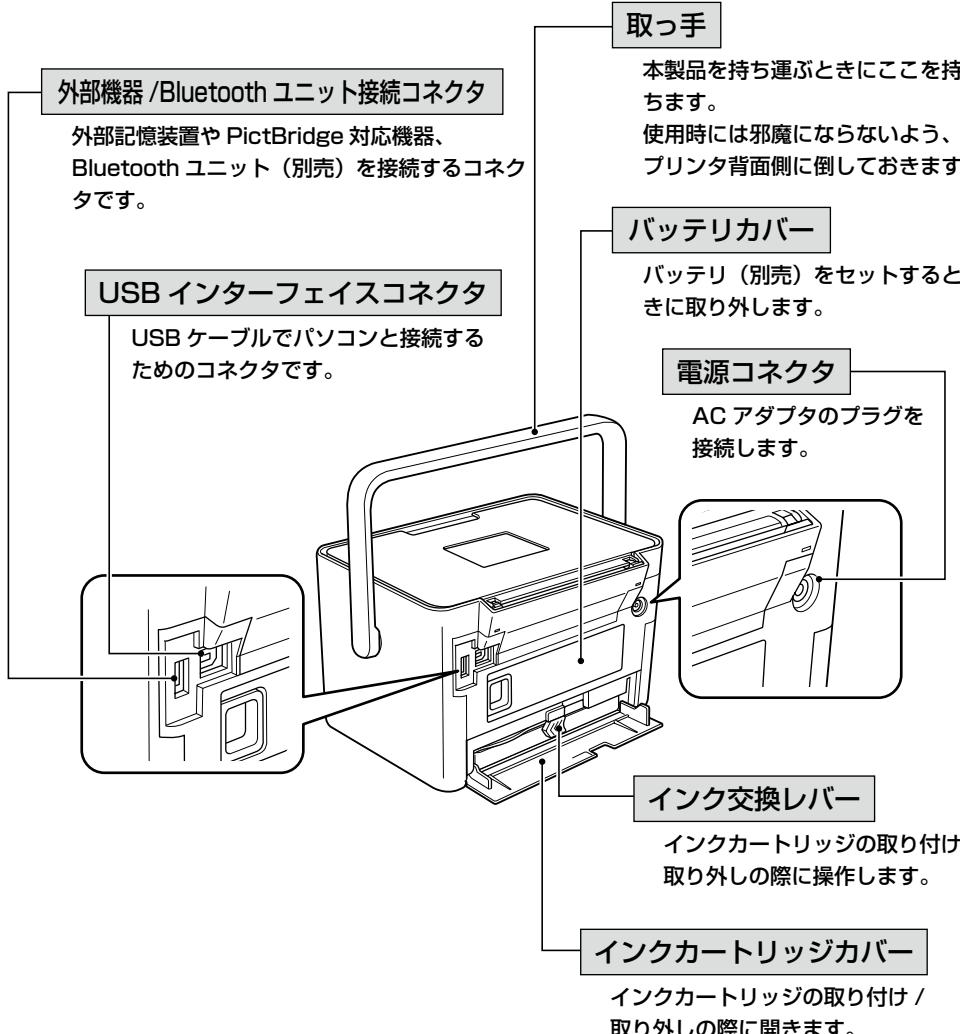
液晶ディスプレイについて

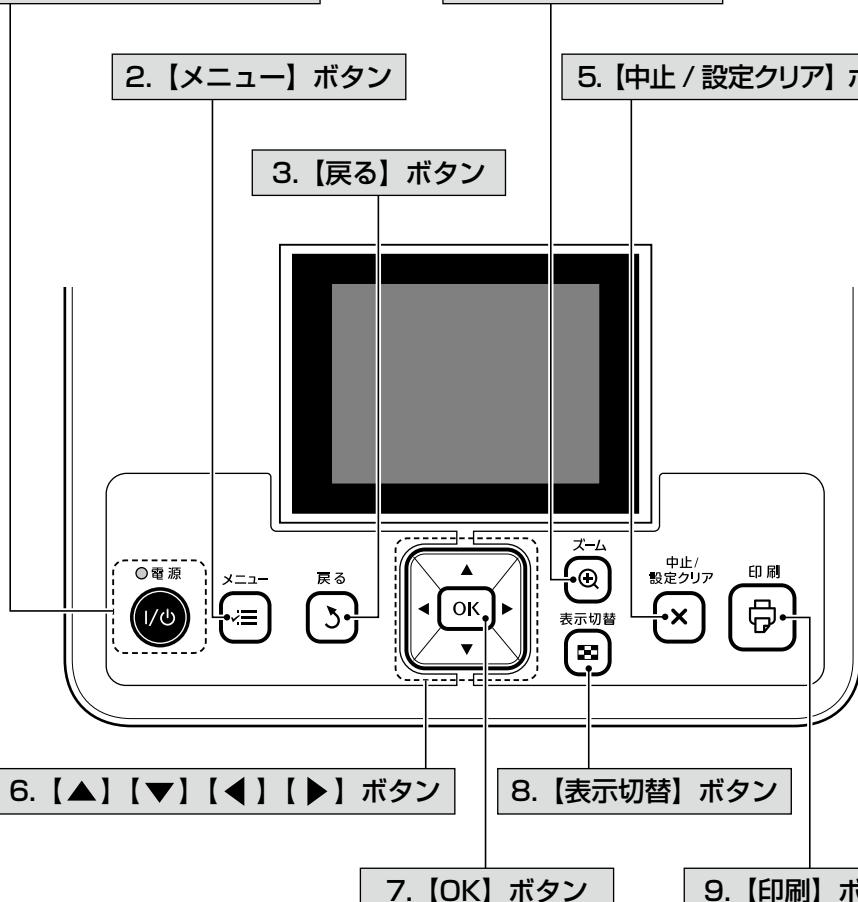
画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

各部の名称と働き

前面

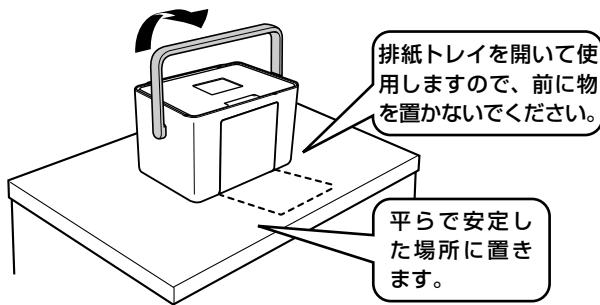
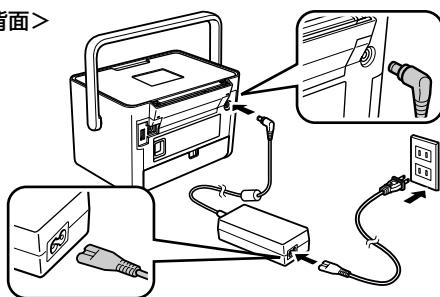
パネルカバー
本製品を使用しないときは、閉じてパネル部のホコリを防ぎます。
オートシートフィーダ
セットした用紙を自動的に給紙します。
エッジガイド
用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。
メモリカードスロット
メモリカードを差し込むスロットです。
☞ 本書 24 ページ「メモリカードのセット方法」
メモリカード取り出しボタン
下段スロットに挿入したメモリカードを取り出します。
メモリカードランプ
メモリカードがセットされているときに点灯し、アクセス中は点滅します。
赤外線通信ポート
携帯電話やデジタルカメラから直接印刷する際に、このポートに向けてデータを送信します。
排紙トレイ
印刷された用紙を保持します。

背面

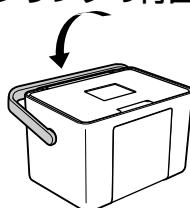
取っ手
本製品を持ち運ぶときにここを持ちます。
使用時には邪魔にならないよう、プリンタ背面側に倒しておきます。
外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ
外部記憶装置や PictBridge 対応機器、Bluetooth ユニット（別売）を接続するコネクタです。
バッテリカバー
バッテリ（別売）をセットするときに取り外します。
USB インターフェイスコネクタ
USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。
電源コネクタ
AC アダプタのプラグを接続します。
インク交換レバー
インクカートリッジの取り付け / 取り外しの際に操作します。
インクカートリッジカバー
インクカートリッジの取り付け / 取り外しの際に開きます。

操作パネル部

1.【電源】ボタン / ランプ
4.【ズーム】ボタン
2.【メニュー】ボタン
5.【中止 / 設定クリア】ボタン
3.【戻る】ボタン
電源
メニュー
戻る
ズーム
中止/
設定クリア
印刷
表示切替
OK
6.【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
8.【表示切替】ボタン
7.【OK】ボタン
9.【印刷】ボタン

1.	**【電源】ボタン / ランプ** 本製品の電源をオン / オフします。 • 電源オン：電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに画面が表示されます。 • 電源オフ：電源ランプが消灯し、液晶ディスプレイの画面が消えます。
2.	**【メニュー】ボタン** 印刷の設定、本体の設定、メンテナンスなどを行います。
3.	**【戻る】ボタン** ひとつ前の画面に戻るときなどに押します。 写真をズームしているときは、【戻る】ボタンを押すとひとつ前の拡大率に戻ります。
4.	**【ズーム】ボタン** 写真を選ぶ画面で押すと、写真を拡大します。
5.	**【中止 / 設定クリア】ボタン** • 印刷中に押すと、印刷を中止して用紙を排出します。 • 写真を選ぶ画面で押すと、印刷枚数の設定と、［メニュー］の［編集］で設定されている項目がすべてクリアされます。
6.	**【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン** 写真や項目、設定値を選択するときなどに使用します。
7.	**【OK】ボタン** 項目を決定するときや次の画面に進むときに押します。
8.	**【表示切替】ボタン** 液晶ディスプレイに一度に表示することのできる画像数を変更します。
9.	**【印刷】ボタン** 印刷を開始します。 ［メニュー］－［プリンタの設定］の［印刷プレビュー表示設定］がオンになっている場合は、【印刷】ボタンを押すと印刷プレビューが表示されます（ご購入時は［印刷プレビュー表示設定］はオンになっています）。

コンセントにつなぐ

1 プリンタを設置し、取っ手を上げます。

本書 6 ページ「設置上のご注意」

2 コンセントにつなぎます。

⚠警告	・ AC100V 以外の電源は使用しないでください。 指定以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

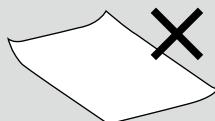
3 下図を参照し、取っ手をプリンタの背面側に倒します。

用紙のセット方法

用紙をセットする前に

よりきれいに印刷するために、エプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

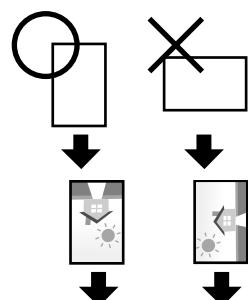
■使用できない用紙

次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている用紙
- 破れている用紙 / 切れている用紙
- 写真を貼り合わせた厚いハガキ

- 角が反っている用紙
- 折りがある用紙
- シールなどを貼った用紙

- 丸まっている用紙 / 反っている用紙
- 穴があいている用紙

■用紙のセット方向

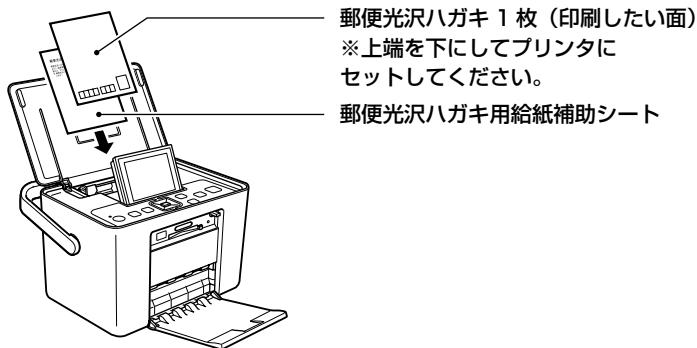
用紙は縦方向にセットしてください。

用紙の上下を区別する必要があるとき（ハガキ印刷時など）は、用紙の上端を下に向けてセットしてください。

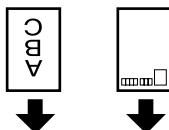
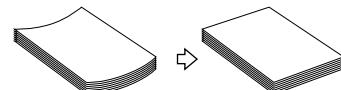
■用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージや取扱説明書などに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。

■郵便光沢ハガキをうまく給紙できないときは

郵便光沢ハガキ用給紙補助シートの上に郵便光沢ハガキを 1 枚だけ重ねて、本製品にセットして印刷してください。

郵便光沢ハガキ 1 枚（印刷したい面）
※上端を下にしてプリンタにセットしてください。
郵便光沢ハガキ用給紙補助シート

■パソコンからハガキに印刷するときは

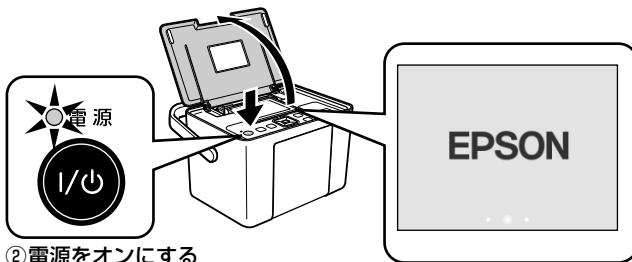
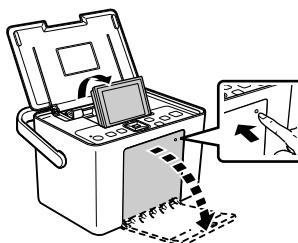
- ハガキは、下図の向きでセットしてください。

- ハガキの宛名面に印刷するときは、先に通信面に印刷してから宛名面に印刷してください。
- 郵便ハガキ（インクジェット紙）印刷時にうまく給紙できないときは、ハガキを 1 枚だけ本製品にセットして印刷してください。
- ハガキの通信面の印刷が終わったら、しばらく乾かした後、反りを修正して平らにしてください。

- ハガキの宛名面に印刷するときは、下端に 17mm の余白ができます。そのため、ハガキの種類によっては差出人の郵便番号枠に印刷できないものもあります。

■試し印刷をしよう

使用する用紙によって印刷の仕上がりが異なりますので、大量に印刷する際は、事前に試し印刷を行うことをお勧めします。

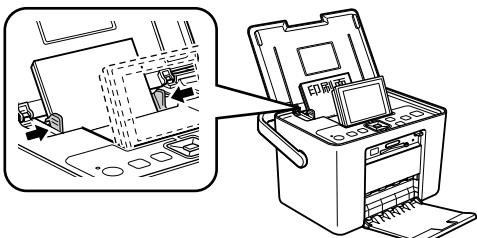
用紙のセット

1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。

2 排紙トレイを開き、液晶ディスプレイを見やすい角度に調整します。

※ 排紙トレイを開くときは、本製品を手で支えて傾かないようにしてください。

3 用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は印刷する面を手前にして、縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷できません。

☞ 本書 23 ページ「印刷できる用紙」

①用紙の裏表を確認
②印刷する面を手前にしてセット

③左右のエッジガイドを用紙の端に合わせる

印刷できる用紙

対応用紙以外を使用すると、プリンタ本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンタ本来の性能を発揮できない場合があります。
特に、普通紙は紙詰まりの原因となりますので使用しないでください。

用紙名称		サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
エプソン製専用紙	**写真用紙クリスピア＜高光沢＞** 【プロ仕様】 かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L 判	20 枚	より光沢のある面
		KG サイズ	20 枚	
	写真用紙＜光沢＞ 【スタンダード】 美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	L 判	20 枚	
		KG サイズ	20 枚	
		カードサイズ	20 枚	
		ハイビジョンサイズ	20 枚	
	写真用紙＜絹目調＞ 光沢をおさえた落ち着いた風合いの写真用紙です。	L 判	20 枚	
	写真用紙＜絹目調＞はがき[*1] 光沢をおさえた落ち着いた風合いの写真専用ハガキです。	ハガキ	20 枚	両面
	写真用紙エントリー＜光沢＞ 【お得】 鮮やかな画質でたくさんプリントするのに最適な写真用紙です。	L 判	20 枚	より光沢のある面
		KG サイズ	20 枚	
	フォトシール フリーカット ハガキサイズの全面シールで、自由にカットして使えます。	ハガキ（全面）	1 枚	白い面
	ミニフォトシール 16 分割の小さなオリジナルシールができます。	ハガキ（16 分割）	1 枚	用紙の右上が切り取られている面
市販の用紙	郵便ハガキ （インクジェット紙）[*1*2]	ハガキ	20 枚	両面
	郵便光沢ハガキ[*1*2]	ハガキ	20 枚	

＊ 1：宛名面はパソコンからの印刷にのみ対応

＊ 2：郵便事業株式会社製

（2008 年 6 月現在）

メモリカードのセット方法

メモリカードのセット

1 お使いのメモリカードを表の中から探して、以下の点を確認します。

- カードアダプタが必要なメモリカードか
- セットするカードスロットは上段スロットか下段スロットか

■カードスロットに直接セットできるメモリカード

上段スロット			
	• xD-Picture Card ™ • xD-Picture Card ™ Type M • xD-Picture Card ™ Type M+ • xD-Picture Card ™ Type H		• マルチメディアカード（MMC） • MMC Plus
	• メモリースティック • メモリースティック PRO • マジックゲートメモリースティック		• SD メモリーカード • SDHC メモリーカード

!重要

- xD-Picture Card は FAT32 でフォーマットしないでください。本製品でデータを読み込めなくなるおそれがあります。

下段スロット			
	• コンパクトフラッシュ		• マイクロドライブ

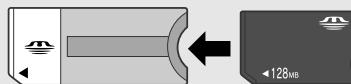
■カードアダプタが必要なメモリカード

以下のメモリカードは、それぞれ専用のカードアダプタにセットしてから本製品のカードスロットにセットしてください。
※カードアダプタは本製品に同梱されていません。

上段スロット

- メモリースティック Duo
- メモリースティック PRO Duo
- マジックゲートメモリースティック Duo
- メモリースティック micro
- メモリースティック PRO-HG Duo

- miniSD カード
- miniSDHC カード
- microSD カード
- microSDHC カード

- MMC mobile（RS-MMC）
- MMC micro

メモリースティックサイズの専用アダプタを使用

SD メモリーカードサイズの専用アダプタを使用

マルチメディアカードサイズの専用アダプタを使用

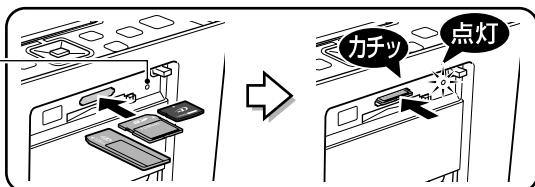
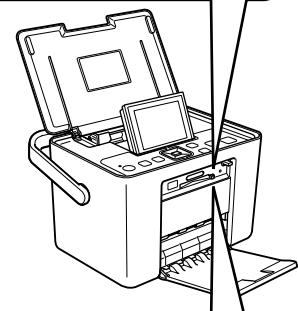
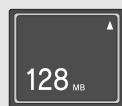
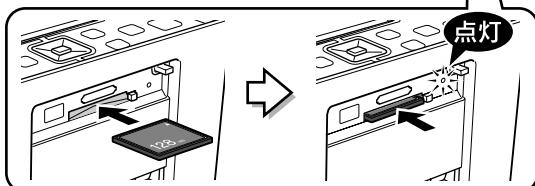
※ 必ずアダプタを取り付けてから本製品にセットしてください。アダプタを取り付けずにセットすると、本製品の故障につながるおそれがあります。

上記は 2008 年 6 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページの「よくあるご質問（FAQ）」でご案内しています。< http://www.epson.jp/faq >

！重要

- 上記以外のカード類は本製品では使用しないでください。本製品やカードの破損につながるおそれがあります。
- メモリカードの表裏を確認し、必ず表面を上にしてカードスロットにセットしてください。裏面を上にしてセットすると、本製品やメモリカードの破損につながるおそれがあります。

2 本製品の電源がオンになっていることを確認して、メモリカードを1 枚だけ挿入します。

■ 上段スロット

■ 下段スロット

!重要

- メモリカードのセット方向を間違えたり、アダプタが必要なメモリカードを、アダプタを取り付けずにセットしたりすると、本製品やメモリカードの破損につながるおそれがあります。
- メモリカードランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- 下段スロットのメモリカード取り出しボタンは、メモリカードと同時に押さないでください。スロットが破損し、メモリカードを取り出せなくなるおそれがあります。
- メモリカードを挿入するときは、本製品を手で支えて傾かないようにしてください。

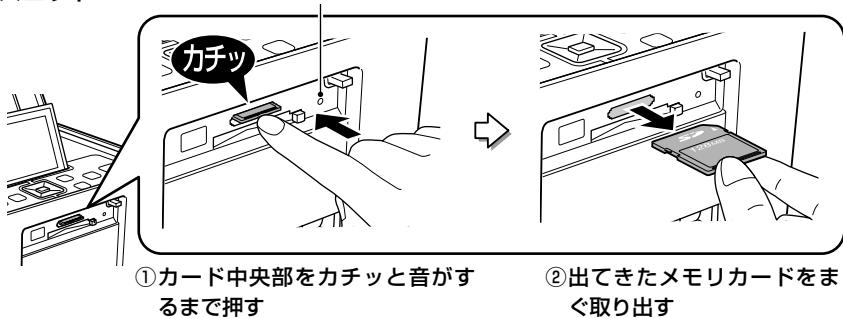
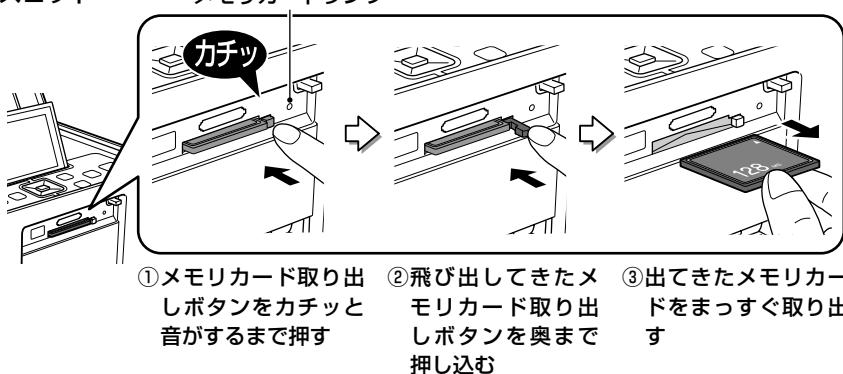
メモリカードの取り出し

メモリカードランプが点滅していないこと（点灯であること）を確認して、取り出してください。
※メモリカードを取り出すときは、本製品を手で支えて傾かないようにしてください。

■上段スロット

①カード中央部をカチッと音がするまで押す
②出てきたメモリカードをまっすぐ取り出す

■下段スロット

①メモリカード取り出しボタンをカチッと音がするまで押す
②飛び出してきたメモリカード取り出しボタンを奥まで押し込む
③出てきたメモリカードをまっすぐ取り出す

外部記憶装置のセット方法

外部記憶装置とは？

本製品に接続して、写真データを保存したり、保存した写真データを印刷できる機器を、本書では「外部記憶装置」と呼びます。

☞ 本書 88 ページ「メモリカードのデータを外部記憶装置に保存する」

本製品に接続できる外部記憶装置

使用できる外部記憶装置と外部記憶装置にセットできるメディアは下表の通りです。ただし、すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの外部記憶装置については、エプソンのホームページをご覧ください。

＜ http://www.epson.jp ＞

外部記憶装置	外部記憶装置にセットするメディア
CD-R ドライブ DVD-R ドライブ	・ CD-R 650MB、700MB ・ DVD-R 4.7GB、DVD-RW ※CD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ	・ MO 128MB、230MB、640MB、1.3GB ※DOS/Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

※バスパワーでの電源供給はできません。必ず AC アダプタを接続してお使いください。

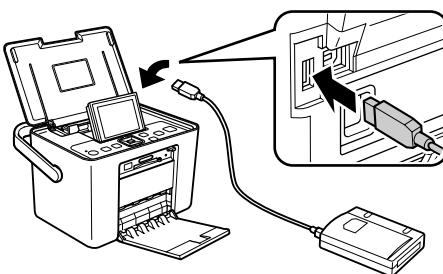
※以下のメディアは使用できません。

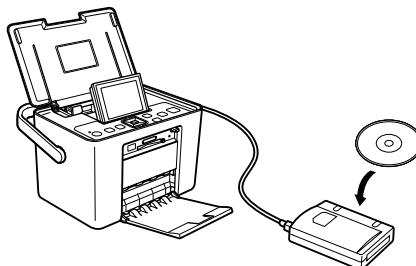
- CD-R（8cm）、CD-R（名刺型）
- 700MB を超える CD-R

外部記憶装置の接続方法

■CD/DVD/MO ドライブの場合

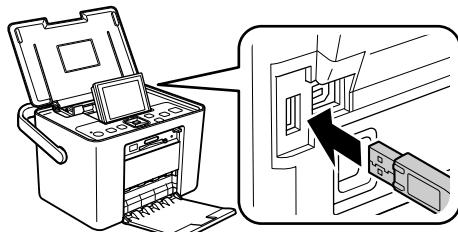
1 本製品と外部記憶装置の電源をオフにします。

2 外部機器接続コネクタに、CD/DVD/MO ドライブの USB ケーブルを差し込みます。

3 本製品と外部記憶装置の電源をオンにします。

4 外部記憶装置にメディア（CD/DVD/MO）をセットします。

■ USB フラッシュメモリの場合

1 本製品のパネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1

2 本製品に USB フラッシュメモリを接続します。

外部記憶装置の取り外し

本製品 / 外部記憶装置とも、電源オンの状態で取り外せます。
外部記憶装置にアクセス中でないことを確認してから、取り外してください。

基本の印刷の流れをマスターしよう

1 本製品の電源をオンにして、用紙をセットします

☞ 本書 19 ページ～ 23 ページ

2 本書 24 ページ～ 31 ページを参照し、メモリカードまたは外部記憶装置をセットします

写真をすべて印刷するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

写真を 1 枚ずつ選んで印刷する場合は、［いいえ］を選択します。

どのフォルダから写真を読み込むかの確認画面が表示されることがあります。

☞ 本書 94 ページ「外部記憶装置の読み込み元フォルダを変更する」

3 印刷する写真を選びます

写真を 1 枚ずつ選んで印刷する場合

① 【◀】【▶】ボタンで写真を選んで【OK】ボタンで決定

その他の選択方法で写真を選択する場合

☞「写真を撮影日別で選んで印刷する」本書 39 ページ手順 2

☞「別のグループの写真を表示する」本書 97 ページ手順 2

4 印刷枚数を設定します

① 【▲】【▼】ボタンで枚数を選択

② 【OK】ボタンで決定

5 用紙 / レイアウトを設定します

セットした用紙の種類、サイズ、レイアウト（割り付け）を設定します。

☞ 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」

6 必要に応じて編集や印刷設定を変更します

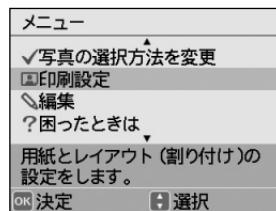
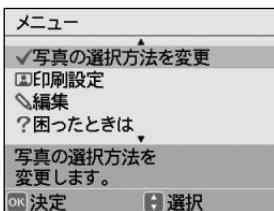
☞「写真に日付を入れて印刷する」本書 44 ページ手順 2
☞「ズームアップ（拡大）して印刷する」本書 45 ページ手順 2
☞「画質を自動補正して印刷する」本書 46 ページ手順 2
☞「色合いや画質を調整して印刷する」本書 48 ページ手順 2
☞「赤目写真を補正して印刷する」本書 50 ページ手順 2
☞「写真に飾りを合成して印刷する」本書 55 ページ手順 2
☞「写真にフレームを合成して印刷する」本書 58 ページ手順 2
☞「デジタルカメラで設定した文字を写真に入れて印刷する<文字合成印刷>」本書 70 ページ手順 2

7 印刷スタート！

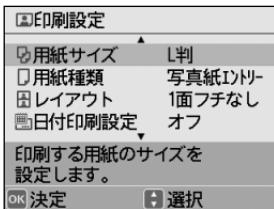
①【印刷】ボタンで印刷プレビュー表示　②【印刷】ボタンで印刷スタート！

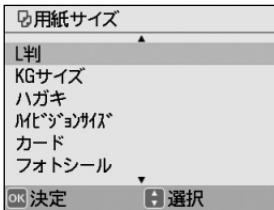
用紙 / レイアウトの設定を変更する

セットした用紙に合わせて用紙サイズ・種類と印刷するレイアウトを設定します。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[印刷設定] を選択します。

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示

②【▲】か【▼】ボタンで［印刷設定］を選択
③【OK】ボタンで決定

2 ［用紙サイズ］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［用紙サイズ］を選択
②【OK】ボタンで決定

3 次ページの表を参照して、［用紙サイズ］、［用紙種類］、［レイアウト］の順に設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

使用用紙対応表

<table>
<tr><th>[用紙サイズ]</th><th>[用紙種類]</th><th>[レイアウト]</th></tr>
<tr><td rowspan="3">L 判</td><td>写真紙エントリー</td><td rowspan="6">1 面フチなし、1 面フチあり、2 面、4 面、8 面、16 面
証明写真
デジタルサイズ
20 面
インデックス（CD）</td></tr>
<tr><td>写真用紙</td></tr>
<tr><td>写真紙クリスピア</td></tr>
<tr><td rowspan="3">KG サイズ</td><td>写真紙エントリー</td></tr>
<tr><td>写真用紙</td></tr>
<tr><td>写真紙クリスピア</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ハガキ</td><td>写真用紙</td><td rowspan="3">1 面フチなし、1 面フチあり、上半分、2 面、20 面</td></tr>
<tr><td>郵便光沢ハガキ</td></tr>
<tr><td>インクジェットハガキ</td></tr>
<tr><td>ハイビジョンサイズ*</td><td>－</td><td rowspan="2">1 面フチなし、1 面フチあり</td></tr>
<tr><td>カード*</td><td>－</td></tr>
<tr><td>フォトシール*</td><td>－</td><td>1 面（フリーカット）、2 面（フリーカット）、4 面（フリーカット）、9 面（フリーカット）、16 面（フリーカット）、16 面（ミニフォト）</td></tr>
</table>

*：[用紙サイズ] の設定で [ハイビジョンサイズ]、[カード]、[フォトシール] を選択した場合、[用紙種類] の設定はできません。そのまま [レイアウト] の設定に進みます。

※「インクカートリッジ＋写真用紙セット」（ICCL45V/ICCL45BV）に付属の L 判写真用紙は、「写真用紙エントリー＜光沢＞ L 判」と同じ設定で使用できます。

＊ 1：デジタルカメラで撮った写真データを、縦横比を維持したまま、用紙に収まるように印刷します。

＊ 2：20 面では各写真の下に番号と日付が印刷されます。

＊ 3：L 判と KG サイズでは、割り付けられる写真の枚数が異なります。

※1 面（フリーカット）、2 面（フリーカット）、4 面（フリーカット）、9 面（フリーカット）、16 面（フリーカット）、16 面（ミニフォト）については以下をご覧ください。

本書 41 ページ「写真をシール用紙に印刷する」手順 7

※各用紙サイズで印刷するレイアウトによっては写真サイズが異なる場合があります。

・［1 面フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になるときは、「はみ出し設定」機能ではみ出し量を調整してください。
☞ 本書 98 ページ「フチなしはみ出し量を調整する」

少し欠けます

・写真データ

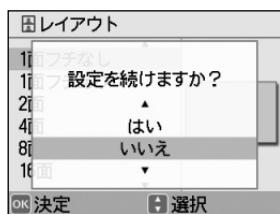
・フチなしプリント

・2 面以上の面付けレイアウトを設定したときは、選択した写真が設定枚数ずつ順番に面付け（レイアウト）されます。

4 面レイアウトで写真 A を 2 枚、写真 B を 1 枚（合計 3 枚）選択した場合、右図のように印刷されます。

A A B

4 設定を続けるかどうかの確認画面が表示されます。

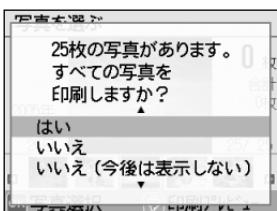
設定を終了する場合は、［いいえ］を選択します。
まだ他の設定をする場合は、［はい］を選択してください。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

編集や印刷設定をしていろいろな印刷をしよう

写真をすべて印刷する

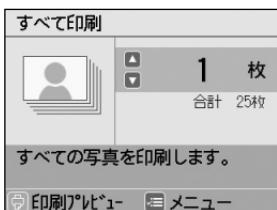
1 メモリカードまたは外部記憶装置をセットします。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのセット」
☞ 本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

2 「すべて印刷確認画面」が表示されます。[はい] を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで [はい] を選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 本製品が対応していないデータは「?」アイコンで表示されます。この写真も 1 枚としてカウントされます。
  上記の非対応データが入っているメモリカードまたは外部記憶装置の写真をすべて印刷すると、非対応データは印刷されず、空白になります。また、1 面レイアウトで印刷すると、非対応データだけ印刷されません(他の写真は印刷されます)。
- すべて印刷確認画面で [いいえ] を選択した場合は、すべての写真を選択してから印刷してください。
  ☞ 本書 95 ページ「表示されている写真を一度にすべて選択する」
- すべて印刷確認画面で [いいえ(今後は表示しない)] を選択した場合は、「すべて印刷表示設定」で元に戻せます。
  ☞ 本書 101 ページ「確認画面の表示 / 非表示を設定する」
- どのフォルダから写真データを読み込むかの確認画面が表示された場合は、【▲】【▼】ボタンでフォルダを選択し、【OK】ボタンで決定します。

3 写真を何枚ずつ印刷するかを設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで枚数を選択
※すべての写真を何枚ずつ印刷するかを決定します。
(例 :「2 枚」を選択すると、すべての写真を 2 枚ずつ印刷します。)

4 用紙 / レイアウトを設定して写真を印刷します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 5 ～手順 7

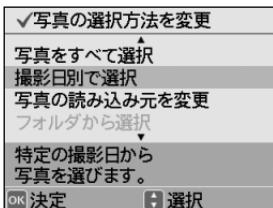
写真を撮影日別で選んで印刷する

特定の撮影日から写真を選択します。
運動会や遠足など、イベントがあった日の写真を選ぶときに便利です。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2 を参照し、写真を選ぶ画面を表示します。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［写真の選択方法を変更］を選択します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

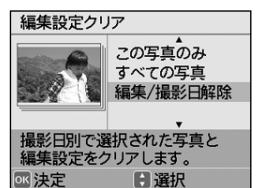
3 ［撮影日別で選択］を選択し、日付を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［撮影日別で選択］を選択
②【OK】ボタンで決定

③【◀】か【▶】ボタンで撮影日を選択 / 解除
※複数の撮影日を選択できます。
④【OK】ボタンで決定

- デジタルカメラでの撮影後、パソコンのアプリケーションなどでファイル保存し直された写真データは、ファイル保存した日付で表示されることがあります。

4 選択した日付の写真が表示されます。

- 【中止 / 設定クリア】ボタンを押すと、右の画面が表示されます。撮影日別での選択をクリアし、すべての写真を表示するには、【▲】【▼】ボタンで［編集 / 撮影日解除］を選択し、【OK】ボタンで決定してください。

※ 写真に［編集］メニューの設定がされているときは、撮影日別の設定と一緒に、［編集］メニューで行った設定もクリアされます。

5 用紙 / レイアウトを設定して写真を印刷します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 5 ～手順 7

写真をシール用紙に印刷する

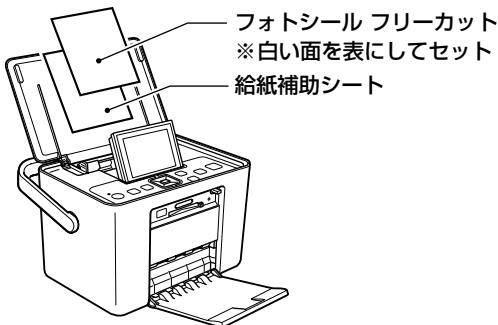
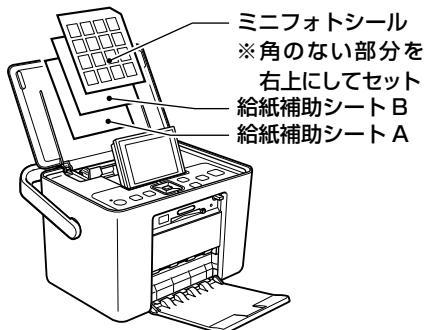
エプソン製専用紙「フォトシール フリーカット」、「ミニフォトシール」(ハガキサイズ)に写真を印刷し、オリジナルシールを作ります。

1 パネルカバーと排紙トレイを開き、電源をオンにします。

2 フォトシール フリーカット、ミニフォトシールをセットします。

フォトシール フリーカット、ミニフォトシールに付属の「給紙補助シート」を下に敷いて、1 枚ずつセットしてください。

本書 22 ページ「用紙のセット」手順 3

<フォトシール フリーカットの場合>

<ミニフォトシールの場合>

3 メモリカードまたは外部記憶装置をセットします。

本書 24 ページ「メモリカードのセット」
本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

4 印刷する写真を選択して、印刷枚数を設定します。

本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 3 〜手順 4

5 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[印刷設定] を選択します。

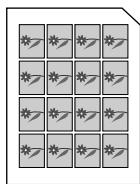
本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」手順 1

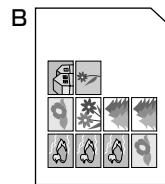
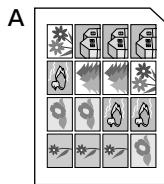
6 [用紙サイズ] の設定値から [フォトシール] を選択します。

本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」手順 3

7 下表を参照して［レイアウト］の設定値を選択します。

印刷レイアウトについて

・写真を1つだけ選んで印刷した場合

同じ写真がすべての面にレイアウトされます。

・写真を複数選んで印刷した場合

選択した写真が、設定枚数分ずつレイアウトされます。設定枚数によってはB図のように余白ができる場合があります。

フォトシール フリーカットの余白について

フォトシール フリーカットはフチなし印刷に対応していません。余白については以下をご覧ください。

- 1面選択時の余白：左右 各8.5mm/ 上下 各17mm

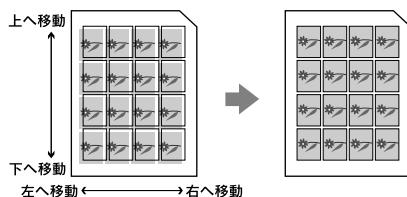
「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは、［いいえ］を選択します。

8 印刷を実行します。

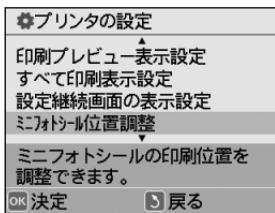
☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

ミニフォトシールの位置調整

ミニフォトシール印刷時に、シール部分と印刷の位置がずれてしまう場合には、以下の手順で印刷位置の調整をしてください。

上下左右の移動方向は右図のとおりです。移動の調整は 0.5mm 単位で上 2.5mm から下 2.5mm まで、左 2.5mm から右 2.5mm までできます。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタの設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 ［ミニフォトシール位置調整］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ミニフォトシール位置調整］を選択
②【OK】ボタンで決定

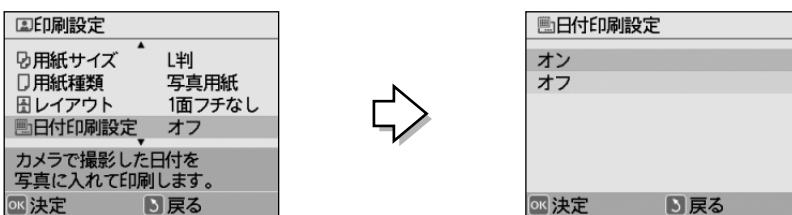
③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定
④【OK】ボタンで決定

写真に日付を入れて印刷する

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［印刷設定］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して［日付印刷設定］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［日付印刷設定］を選択
②【OK】ボタンで決定

日付印刷設定
オン
オフ
決定
戻る

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オン	年、月、日の順で日付を印刷します。　例）2008.02.14
オフ（購入時の設定）	日付を入れずに印刷します。

※L 判サイズで 2 面以上のレイアウト /KG サイズで 4 面以上のレイアウト（インデックスを除く）、フォトシールのレイアウトでは、日付印刷設定が適用されません。

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは、［いいえ］を選択します。

4 印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

- デジタルカメラでの撮影後、パソコンのアプリケーションなどでファイル保存し直された写真データは、ファイル保存した日付で印刷されることがあります。

ズームアップ（拡大）して印刷する

写真の一部をズームアップして印刷します。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【ズーム】ボタンで、写真をズームアップ（拡大）します。

①【ズーム】ボタンでズームモードに
②【ズーム】ボタンを押すごとに 100% ずつ写真を拡大
※【戻る】ボタンでひとつ前の拡大率に戻ります

③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで拡大位置を移動
④【メニュー】ボタンでズーム枠を回転
⑤【OK】ボタンで決定

・ 最大 500% まで拡大できます。

3 ズームアップの内容を確認します。

①【OK】ボタンで決定
※ズームをやり直す場合は【戻る】ボタンを押す

4 印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

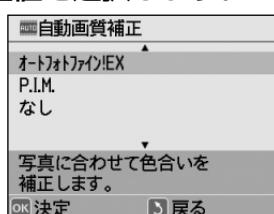
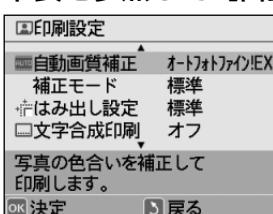
画質を自動補正して印刷する

写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［印刷設定］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して［自動画質補正］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［自動画質補正］を選択
②【OK】ボタンで決定

自動画質補正
オートフォトファイン!EX
P.I.M.
なし
写真に合わせて色合いを
補正します。
決定　戻る

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オートフォトファイン !EX （購入時の設定）	画像に合わせて最適な補正をして印刷します。 写真データに Exif Print*の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた補正も行います。 ［オートフォトファイン !EX］を選択した場合は、続いて［補正モード］を設定します。 ☞ 本書 47 ページ「オートフォトファイン !EX の補正モードを設定する」
P.I.M.	PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。
なし	自動補正しません。

＊：Exif Print（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加される撮影情報です。

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは、［いいえ］を選択します。

4 印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

オートフォトファイン !EX の補正モードを設定する

[印刷設定]の[自動画質補正]で[オートフォトファイン !EX]を選択すると、オートフォトファイン !EX の補正モードを設定できます。下表を参照して写真の種類に適した補正モードを選択します。

設定値	設定値の詳細
標準（購入時の設定）	写真に合わせて最適な自動補正をします。
人物	人物写真に適した色合いに補正します。
風景	風景写真に適した色合いに補正します。
夜景	夜景写真に適した色合いに補正します。

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは、［いいえ］を選択します。

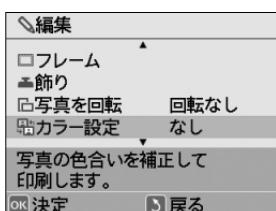
色合いや画質を調整して印刷する

写真にセピア、モノクロなどの効果を加えたり、明るさや鮮やかさを調整したりして印刷します。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 〜手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで項目を選択
②【OK】ボタンで決定

カラー設定
なし
モノクロ
セピア
決定
戻る

③【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択
④【OK】ボタンで決定

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

画質調整項目	設定値
カラー設定 写真に色調の効果を加えて印刷します。	<u>なし</u>：色調の効果を加えずに印刷します。 モノクロ：モノクロで印刷します。 セピア：セピア色で印刷します。
明るさ 写真の明るさを調整して印刷します。	より明るく、明るく、<u>標準</u>、暗く、より暗く
鮮やかさ 写真の鮮やかさを調整して印刷します。	より鮮やか、鮮やか、<u>標準</u>、くすんだ、よりくすんだ
シャープネス 写真のシャープさを調整して印刷します。	シャープネス強、シャープネス弱、<u>標準</u>、ソフトフォーカス弱、ソフトフォーカス強

4 どの写真にこの設定を反映するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは、［いいえ］を選択します。

5 印刷を実行します。

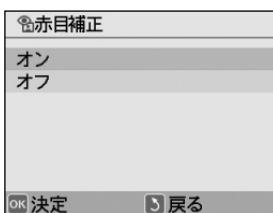
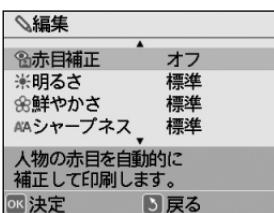
本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

赤目写真を補正して印刷する

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 〜手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［編集］を選択します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して［赤目補正］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［赤目補正］を選択
②【OK】ボタンで決定

赤目補正
オン
オフ
決定
戻る

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オン	赤目になっている写真を補正します。
オフ（購入時の設定）	赤目補正を行いません。

4 どの写真にこの設定を反映するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは［いいえ］を選択します。

5 印刷を実行します。

本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 〜手順 7

ナチュラルフェイス印刷（小顔補正 / 美白補正）をする

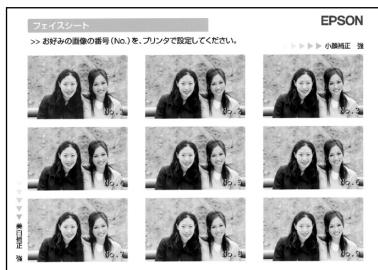
人物写真に小顔補正や美白補正の効果を加えて印刷します。
ナチュラルフェイス印刷には、以下の 3 つの方法があります。

■補正値を直接設定して印刷する

メニュー画面で小顔補正や美白補正の補正値を設定して印刷します。補正結果を確認することができませんが、お手軽に設定できます。

☞ 本書 51 ページ「補正値を直接設定して印刷する」

■「フェイスシート」を印刷して効果を確認してから印刷する

☞ 本書 53 ページ「フェイスシートを印刷して効果を確認してから印刷する」

<フェイスシート印刷の流れ>

①「フェイスシート」に補正結果を印刷して、小顔補正や美白補正の効果を確認
②気に入った写真を選んで印刷

参考

- 「フェイスシート」という用紙は販売しておりません。フェイスシート印刷には、エプソン製写真用紙<L 判>を使用してください。
- フェイスシートを印刷するとき、印刷する画像、印刷環境、使用メモリサイズによっては、時間がかかることがあります。
  目安時間：3 分～ 4 分（8 メガピクセル、ファイルサイズ 3MB の画像の場合）

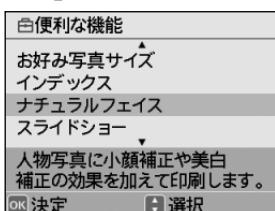
■E-Photo を使って印刷する

付属のソフトウェア「E-Photo」を使うと、小顔補正や美白補正の効果をパソコンの画面で確認してから印刷できます。
詳しくは、E-Photo のヘルプをご覧ください。

補正値を直接設定して印刷する

1 **本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2 を参照し、写真を選ぶ画面を表示させます。**

編集や印刷設定をしていろいろな印刷をしよう

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[便利な機能]メニューの［ナチュラルフェイス］を選びます。

①【▲】か【▼】ボタンで［便利な機能］を選択
②【OK】ボタンで決定
③【▲】か【▼】ボタンで［ナチュラルフェイス］を選択
④【OK】ボタンで決定

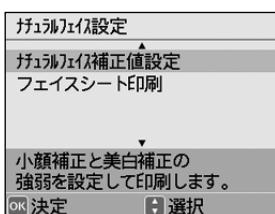
3 ［インフォメーション］画面が 2 回表示されます。2 回とも、【OK】ボタンを押して次へ進みます。

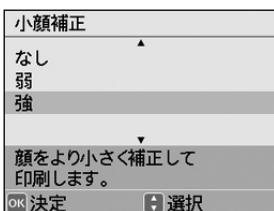
4 写真を選択します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 3

参考

次のような写真を選択すると効果を確認しやすくなります。
- 1 ～ 3 人で同一方向（正面）を向いているもの
- 複数の顔がある場合、顔と顔が近すぎないもの
- 顔が大きすぎないもの（顔全体が写真に納まっているもの）
- 顔が小さすぎないもの
- サングラスや帽子などで顔の一部が隠れていないもの

5 「顔が検出されました。」というメッセージが表示されたら、【OK】ボタンを押して次へ進みます。

6 ［ナチュラルフェイス補正値設定］を選択します。

7 下表を参照して、小顔補正の補正値を設定します。続けて、美白補正の補正値を設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
小顔補正	小顔補正の補正値を設定します。 なし、弱、強
美白補正	美白補正の補正値を設定します。 なし、弱、強

8 必要に応じて印刷枚数を設定し、印刷を実行します。

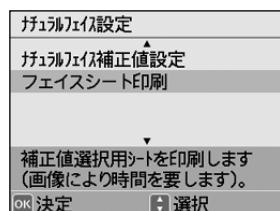
本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 〜手順 7

フェイスシートを印刷して効果を確認してから印刷する

1 本書 51 ページ「補正値を直接設定して印刷する」の手順 1 〜手順 5 を参照して写真を選択します。

用紙をセットするときは、フェイスシート印刷用に、L 判サイズの写真用紙をセットしてください。

L 判サイズより大きい用紙（KG サイズなど）も使用できますが、写真は拡大されず、L 判サイズの大きさで印刷されます。

2 ［フェイスシート印刷］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

- 印刷する画像によっては、時間がかかることがあります。

3 ［インフォメーション］画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して次へ進みます。

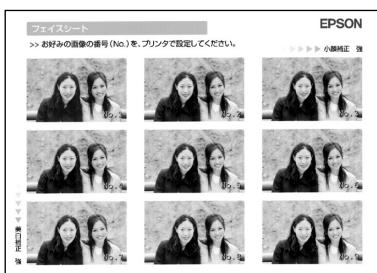
4 フェイスシートズームで写真を拡大し、顔を認識しやすくします。

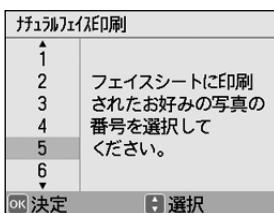
①【ズーム】ボタンで写真を拡大
②【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで顔が中央に配置されるように移動
③【メニュー】ボタンで枠を回転
④【OK】ボタンで決定します。「この表示内容でよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、【OK】ボタンを押します。

※このズームは、フェイスシートのみに反映されます。
※ズームする必要がない場合は、【OK】ボタンを押してください。顔を拡大しすぎると、効果が得られないことがあります。ズームしすぎた場合は、【ズーム】ボタンを何回か押して 100% 表示にしてください。

5 印刷プレビューを確認し、フェイスシートを印刷します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 7

6 フェイスシートに印刷された写真の中から気に入った写真の番号を選択します。

No.	小顔	美白
1	なし	なし
2	弱	なし
3	強	なし
4	なし	弱
5	弱	弱
6	強	弱
7	なし	強
8	弱	強
9	強	強

ﾅﾁｭﾗﾙﾌｪｲｽEI印刷
▲
1
2
3
4
5
6
▼
フェイスシートに印刷されたお好みの写真の番号を選択してください。
OK 決定　選択

①【▲】か【▼】ボタンで番号を選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 補正を強くすると、顔周辺の背景などがゆがむことがあります。

7 写真を印刷する用紙をセットして、印刷を実行します。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」
☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 7

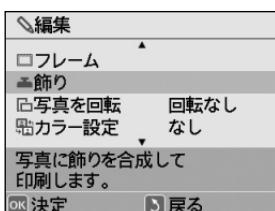
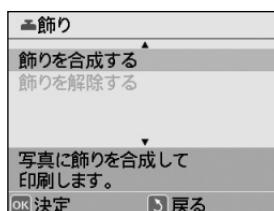
写真に飾りを合成して印刷する

写真にいろいろな飾りを合成して印刷します。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [飾り] メニューの [飾りを合成する] を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで [飾り] を選択
②【OK】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで [飾りを合成する] を選択
④【OK】ボタンで決定

4 飾り一覧から合成する飾りを選択します。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで合成する飾りを選択
②【OK】ボタンで決定

5 写真の好きな位置に飾りを配置します。

※ 写真の端や隅には、飾りを配置できません。これは、飾りが切れて印刷されるのを防ぐためです。

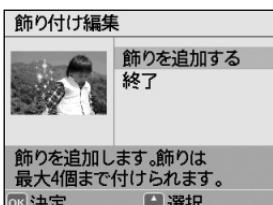
①【ズーム】ボタンで飾りを拡大
※【戻る】ボタンでひとつ前の拡大率に戻ります

移動　飾りを拡大
飾りを回転　決定

②【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで飾りを移動
③【メニュー】ボタンで飾りを回転
④【OK】ボタンで決定

6 写真と飾りの合成内容を確認します。

①【OK】ボタンで決定

7 さらに別の飾りを追加するかどうかを選択します。飾りは最大４個まで付けられます。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

8 印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

写真と飾りの合成を解除する

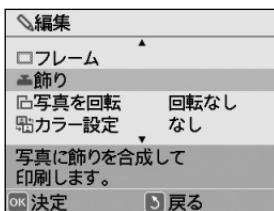
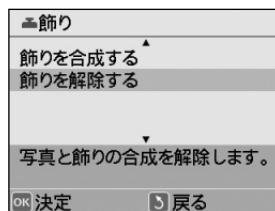
1 飾りの合成を解除する写真を表示させます。

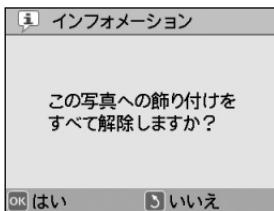
☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2

- 飾り付けがされている写真には[アイコン]または飾りが表示されます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［編集］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［飾り］メニューの［飾りを解除する］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［飾り］を選択
②【OK】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［飾りを解除する］を選択
④【OK】ボタンで決定

4 写真と飾りの合成をすべて解除します。

①【OK】ボタンを押す

写真にフレームを合成して印刷する

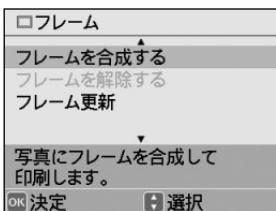
エプソンのホームページにもっとわかりやすい PDF マニュアルがあります。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集］メニューの［フレーム］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［フレームを合成する］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フレームを合成する］を選択
②【OK】ボタンで決定

4 合成するフレームを選択します。

©Disney

①【◀】か【▶】ボタンで合成するフレームを選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 手順 4 の画面では、設定されている用紙 / レイアウトに対応したフレームのみ表示されます。
  ☞ 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」
- ［用紙サイズ / 種類］で［フォトシール］を選択したときは、用紙の下端 17mm は印刷範囲外になります。フォトシール フリーカット専用のフレーム（フチに模様が入っていないフレーム）をご使用ください。
  ※ ハガキ用のフレームを選択すると、写真およびフレームの全体を印刷することができません。
- フレーム選択画面で【表示切替】ボタンを押すと画面表示が 6 面、16 面、1 面（印刷設定表示）、1 面（印刷設定非表示）と切り替わります。
  ☞ 本書 99 ページ「画面の表示を切り替える」
- プリンタ単体で印刷する場合は、フレームの枠が 1 つのものを使用してください。複数の枠があるフレームは使用できません。

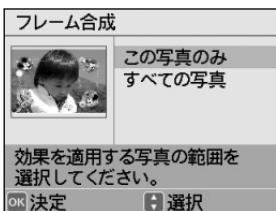
5 フレームを編集します。

①【ズーム】ボタンで写真を拡大
②【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでフレームを移動
③【メニュー】ボタンで写真を回転
④【OK】ボタンで決定

手順 5 の画面で約 5 秒間何も操作しない状態が続くと、画面下部にボタンの役割を表すガイドが表示されます。

6 写真とフレームの合成内容を確認します。

①【OK】ボタンで決定

7 フレーム編集を適用する写真の範囲を選択します。

©Disney

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

※ 写真を選ぶ画面に戻ると、対象の写真にまたは合成したフレームが表示されます。
※ フレームによっては、合成後のイメージが表示されないことがあります。

8 印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 ～手順 7

参考

- 2 面などの多面割り付けレイアウトを選択している場合、異なるフレームをそれぞれの写真に合成して印刷できます。ただし、多面レイアウトに対応していないフレームもあります。
  また、選択する用紙種類によっては、多面割り付けレイアウトで印刷できないことがあります。

写真とフレームの合成を解除する

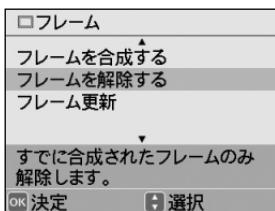
1 フレームの合成を解除する写真を表示させます。

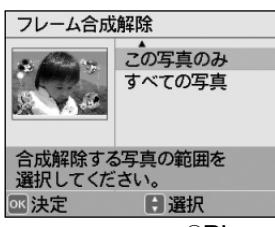
☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2

・ フレームが合成されている写真には▩または合成したフレームが表示されます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集］メニューの［フレーム］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［フレームを解除する］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フレームを解除する］を選択
②【OK】ボタンで決定

4 どの写真からフレームの合成を解除するかを選択し、実行します。

©Disney

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

プリンタ本体にフレームを追加 / 削除する

本製品に新しいフレームを追加したり、元々入っているフレームを削除したりできます。これを「本体内蔵フレームの更新」と呼びます。

新しいフレームをプリンタに追加するときは、以下をご覧ください。

- エプソンのホームページから新しいフレームを入手する場合
  『PRINT Image Framer Tool　オンラインヘルプ』
- 付属の『ソフトウェア CD-ROM』からフレームデータを入手する場合
  本書 62 ページ「本体フレームデータを更新する」

プリンタに元々入っているフレームを削除するときは、以下をご覧ください。
本書 62 ページ「本体フレームデータを更新する」手順 2

参考

- 間違えて元々入っているフレームを削除してしまった場合でも、付属の『ソフトウェア CD-ROM』に同じフレームデータが入っているため、元に戻すことができます。パソコンまたは CD ドライブが必要です。
  本書 62 ページ「本体フレームデータを更新する」
- エプソンのホームページからフレームデータを入手するには、本製品とパソコンを接続して、ソフトウェアをインストールしておく必要があります。
  本書 137 ページ「ドライバの再インストール」

■本体フレームデータを更新する

1 フレームを保存したメモリカードまたは外部記憶装置を本製品にセットします。

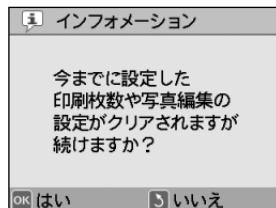
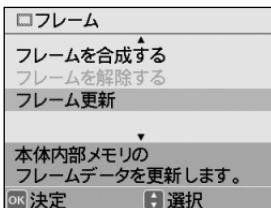
参考

- 『ソフトウェア CD-ROM』からフレームデータを読み込む場合は、ここで本製品に接続した外部記憶装置（CD/DVD ドライブなど）に『ソフトウェア CD-ROM』をセットしてください。

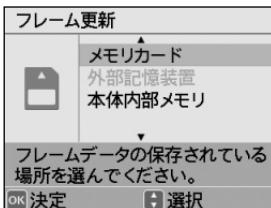
本書 24 ページ「メモリカードのセット方法」
本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集］メニューの［フレーム］を選択します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［フレーム更新］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フレーム更新］を選択
②【OK】ボタンで決定

③表示されたメッセージを確認し、【OK】ボタンを押す

4 フレームデータが保存されている機器を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンでフレームデータが保存されている機器を選択
②【OK】ボタンで決定

- 新しいフレームを追加せず、本体内蔵フレームを削除したい場合は、［本体内部メモリ］を選択します。

5 フレームの一覧から、本製品に追加したいフレームまたは削除したいフレームを選択します。

©Disney

①【▲】か【▼】ボタンで追加 / 削除するフレームを選択
②【OK】ボタンでフレームにチェックを付ける

本製品のフレーム保存用メモリの使用量を表示しています。100% を超えるとグラフが赤く表示されます。

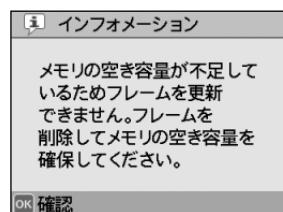
本製品に内蔵されているフレームには、すでにチェックが付いています。【OK】ボタンでチェックを外すと本製品から削除することができます。

参考

- メモリ使用量 100% を超えて保存しようとすると、手順 6 で右のメッセージが表示されます。
- 本製品には、フレームを最大 60 個*保存できます。
  ＊：ただし合計 8MB まで

インフォメーション

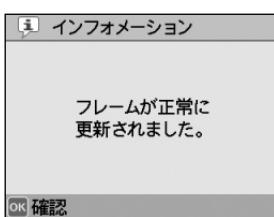
メモリの空き容量が不足しているためフレームを更新できません。フレームを削除してメモリの空き容量を確保してください。

確認

6 【ズーム】ボタンを押して、内蔵フレームの更新を実行します。

！重要

- 内蔵フレーム更新中は、本製品に触れたり、操作しないでください。正常に更新されなかったり、データが破損することがあります。

7 内蔵フレームの更新を終了します。

①【OK】ボタンを押して内蔵フレームの更新を終了

写真をインデックス印刷する

読み込んでいるメモリカードなどの写真を 20 面割付で印刷することができます。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2 を参照し、写真を選ぶ画面を表示させます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［便利な機能］を選択し、【OK】ボタンを押します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［インデックス］を選択します。

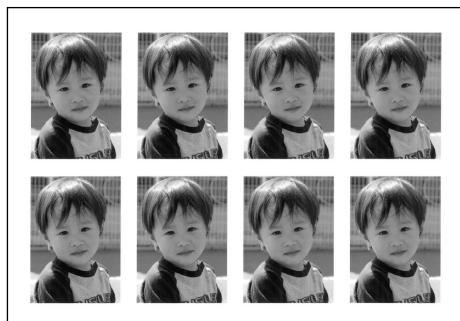
4 印刷プレビューを確認し、印刷を実行します。

①【印刷】ボタンを押す

参考

- 1 枚の用紙に印刷される写真は 20 枚までです。写真が 21 枚以上ある場合は、次の用紙が必要になります。
- 本製品が対応していないデータ（写真を選ぶ画面で「？」アイコンが表示されます）は、インデックス印刷や 2 面などの多面レイアウト印刷時に空白として印刷されます。

お好み写真サイズで印刷する

「50mm × 60mm」という風に、お好みの写真サイズを指定して写真を印刷できます。
証明写真やシールなど、オリジナルサイズの写真を印刷したいときに便利です。

印刷できる用紙サイズは、L 判（89mm × 127mm）/KG サイズ（101.6mm × 152.4mm）/ ハイビジョンサイズ（101.6mm × 180.6mm）/ ハガキ（100mm × 148mm）/ カード（54mm × 86mm）/ フォトシール フリーカット（100mm × 148mm）です。
ミニフォトシールは非対応です。

1 本製品の電源をオンにして、メモリカードまたは外部記憶装置をセットします。

本書 22 ページ「メモリカードのセット」
本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

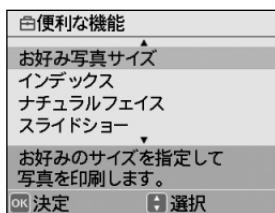
2 ［用紙サイズ］［用紙種類］の設定をします。

本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」

- 「お好み写真サイズ」ではレイアウトは自動的に決定されるため、ここでレイアウトを指定する必要はありません。

3 【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 ［便利な機能］の［お好み写真サイズ］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［便利な機能］を選択
②【▲】か【▼】ボタンで［お好み写真サイズ］を選択

5 印刷枚数の設定をクリアするかどうかの確認画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して次へ進みます。

お好み写真サイズでは印刷枚数の設定はできません。1 枚ずつ印刷します。

6 印刷する写真のサイズを設定します。

1 枚の用紙に印刷される写真の数（レイアウト）は、ここで指定したサイズによって変わります。写真サイズが小さければ、1 枚の用紙に同じ写真を何枚か印刷できます（最大 12 枚）。反対に写真サイズが大きければ、1 枚の用紙に印刷できる写真の数は少なくなります。印刷レイアウトは印刷プレビューで確認できます。次ページの表は L 判サイズに印刷するときの設定値一覧です。

①【▲】か【▼】ボタンで［縦の長さ］を設定
②【◀】か【▶】ボタンで［横の長さ］を設定
③【OK】ボタンで決定

設定値とレイアウトの関係（L 判サイズの場合）

用紙サイズ	レイアウト＊1	設定できる最大値＊2
L 判	1 面	82mm × 121mm
	2 面	82mm × 60mm
	4 面	41mm × 60mm
	6 面	41mm × 39mm
	8 面	41mm × 29mm
	12 面	27mm × 29mm

＊ 1：1 枚の用紙に印刷される写真の数です。
＊ 2：左記のレイアウトで印刷する場合に、指定できる最大値です。

7 印刷する写真を選択します。

①【◀】か【▶】ボタンで写真を選択
②【OK】ボタンで決定

8 写真枠の位置を決定します。

写真枠で囲まれた部分が印刷されます。印刷したい部分が枠内に収まるように調整してください。【戻る】ボタンを押すと手順 6 の画面に戻ることもできます。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで枠を移動
②【メニュー】ボタンで枠を回転
③【ズーム】ボタンで写真を拡大
④【OK】ボタンで決定

9 印刷プレビューが表示されます。

印刷レイアウトを確認し、印刷を実行します。

①【印刷】ボタンを押す

※印刷レイアウトは、最も写真を多く印刷できるように自動的に配置されます。

デジタルカメラで設定した文字を写真に入れて印刷する＜文字合成印刷＞

デジタルカメラで設定した文字情報を写真に入れて印刷することができます。

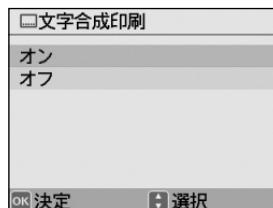
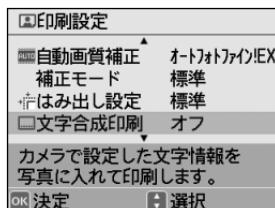
対応デジタルカメラの情報は、エプソンのホームページをご確認ください。
< http://www.epson.jp >
デジタルカメラ側での設定など、詳しくは対応デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 5 を参照し、用紙 / レイアウトの設定までを済ませます。

- 文字合成印刷をするには、以下の 2 つの条件を満たしている必要があります。
  - 用紙サイズの設定で［L 判］［ハガキ］［KG サイズ］［ハイビジョンサイズ］のいずれかを選択する
  - ［レイアウト］の設定で［1 面フチなし］を選択する

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［印刷設定］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して、[文字合成印刷]の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで[文字合成印刷]を選択
②【OK】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで[オン]を選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オン	写真に文字情報を入れて印刷します。
オフ（購入時の設定）	写真に文字情報を入れません。

- 用紙サイズによっては、デジタルカメラ側で設定した文字が用紙からはみ出ることがあります。

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは［いいえ］を選択します。

4 印刷を実行します。

本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 6 〜手順 7

デジタルカメラで指定した写真を印刷する< DPOF 印刷>

デジタルカメラ側で指定した「印刷する写真」や「枚数」の設定で写真を印刷します。

参考

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver 1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。
- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20面）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常の印刷両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

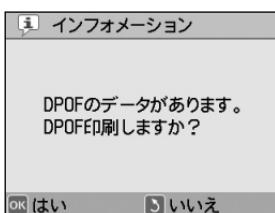
1 電源をオンにして、用紙をセットします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 24 ページ「メモリカードのセット」

3 確認画面が表示されたら【OK】ボタンを押します。

①【OK】ボタンを押す

4 印刷プレビューが表示されたら、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

【メニュー】ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。ここで、用紙 / レイアウトの設定を変更することができます。

☞ 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」

携帯電話 / デジタルカメラから印刷しよう

デジタルカメラや携帯電話から印刷するときの設定をする

携帯電話 / デジタルカメラなどから印刷する前に、用紙 / レイアウトなどの印刷設定をしておきます。

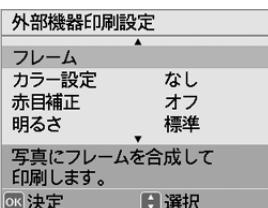
1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［プリンタの設定］メニューの［外部機器印刷設定］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

カラー設定
なし
モノクロ
セピア
OK 決定
選択

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定項目	設定項目の詳細	参照先
フレーム	写真に合成するフレーム（枠）を選択します。	本書 58 ページ
カラー設定	写真に色調の効果を加えて印刷します。	本書 48 ページ
赤目補正	赤目になっている写真を補正して印刷します。	本書 50 ページ
明るさ	写真の明るさを調整して印刷します。	本書 48 ページ
鮮やかさ	写真の鮮やかさを調整して印刷します。	本書 48 ページ
シャープネス	写真のシャープさを調整して印刷します。	本書 48 ページ

4 「設定を続けますか？」というメッセージが表示されます。

設定を終了する場合は［いいえ］を選択します。
まだ他の設定をする場合は［はい］を選択します。

携帯電話から直接印刷する<赤外線通信>

携帯電話や一部のデジタルカメラの赤外線通信機能を使い、ワイヤレスで印刷することができます。
印刷可能な携帯電話・デジタルカメラについては、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

印刷可能なデータと適切な用紙サイズ

携帯電話・デジタルカメラから赤外線経由で送信される以下のデータを、所定のフォーマット（レイアウト）で印刷します。
※お使いの機器によって、印刷できるデータやメニュー名称などが異なります。

印刷可能なデータと印刷形式		適切な用紙サイズ
電話帳（vCard）	1 件印刷	L 判 /KG サイズ / ハガキ / カード
電話帳（vCard）	全件印刷	L 判 /KG サイズ / ハガキ
画像（JPEG 画像のみ対応）		L 判 /KG サイズ / ハガキ / カード

印刷イメージ

■電話帳 1 件印刷（カード）

画像データがある場合、このように印刷されます。

■電話帳全件印刷（L 判 /KG サイズ / ハガキ）

画像データがある場合、このように印刷されます。
※テキストデータのみの場合、最大 1000 件の電話帳を印刷できます。
画像データがある場合は、件数が少なくなります。
※左図は L 判サイズに印刷した場合の例です。

■ JPEG 画像

印刷の際、本製品の操作パネルで各種印刷設定ができます。

携帯電話・デジタルカメラからの印刷方法

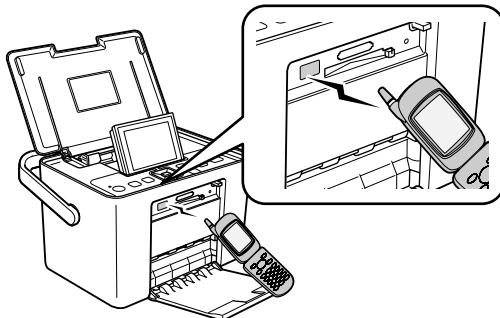
1 本製品の電源をオンにして、用紙をセットします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

参考

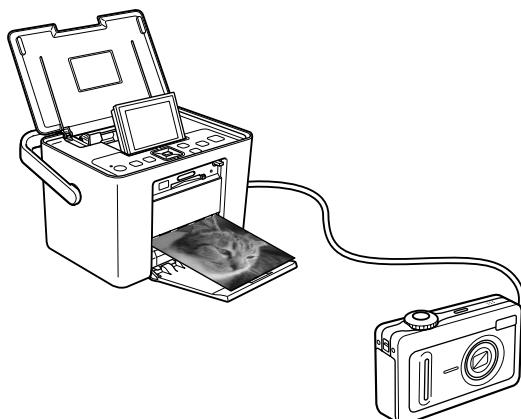
- まだ［外部機器印刷設定］をしていない場合は、印刷を実行する前に設定しておいてください。
  ☞ 本書 73 ページ「デジタルカメラや携帯電話から印刷するときの設定をする」

2 携帯電話・デジタルカメラからデータを送信して、印刷を実行します。

携帯電話の赤外線通信ポートを、本製品の赤外線通信ポートに向けて（20cm 以内に近付けて）送信してください。正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の直下などの場所では、正常に通信できない場合があります。
- 画像データの送信時は、印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。
- 電話帳全件送信の際、携帯電話の機種によっては、暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定した BT/ 赤外線通信パスキーの値（4 桁の数字）を入力してください。
  本製品の［BT/ 赤外線通信パスキー］の設定をしていない場合、初期値の「0000」となります。
  ☞ 本書 79 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

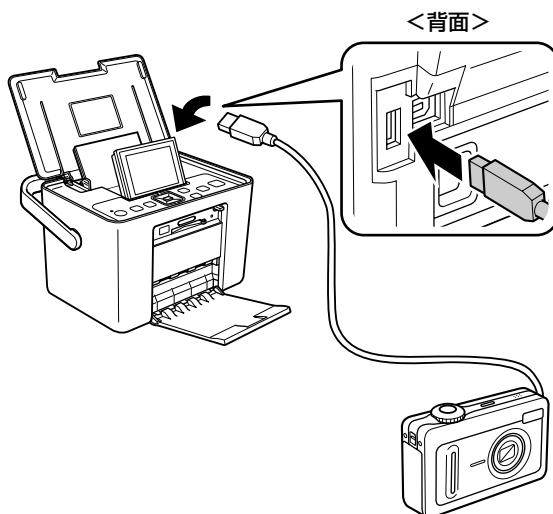
デジタルカメラとプリンタを接続して印刷する

「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷することができます。
本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >
なお、デジタルカメラから印刷を行う際の注意事項をご確認ください。
☞ 本書 149 ページ「ダイレクト印刷仕様」

※上記の規格に対応したデジタルカメラから印刷できます。

1 本製品の電源をオンにして、用紙をセットします。

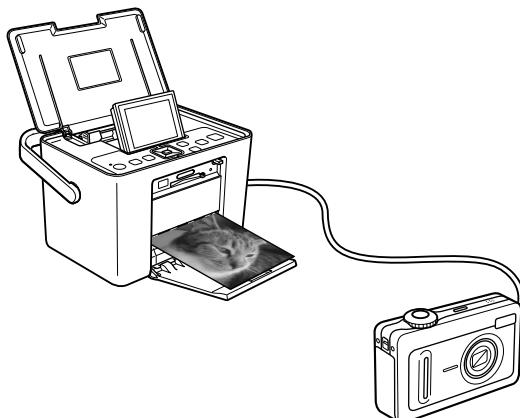
☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1 ～手順 3

- まだ［外部機器印刷設定］をしていない場合は、印刷を実行する前に設定しておいてください。
  ☞ 本書 73 ページ「デジタルカメラや携帯電話から印刷するときの設定をする」

2 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

3 デジタルカメラで各種設定をします。

デジタルカメラの操作方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

4 デジタルカメラから印刷を実行します。

Bluetooth でワイヤレス印刷< Bluetooth ユニットー別売ー >

別売の Bluetooth ユニット（型番：PMDBU3）を使うと、対応したデジタルカメラやパソコンなどから、ワイヤレスで印刷を実行できます。

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル*に対応している必要があります。

＊：Bluetooth 通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

■ BIP（Basic Imaging Profile）

- JPEG 画像*に対応。
  ＊：最大 2.5MB
- 本製品の操作パネルで、印刷の設定（写真の選択と印刷枚数の設定を除く）ができます。
- 一度に送信できるデータは 1 件です。
- 印刷中のデータを含め、10 件まで*印刷予約できます。
  ＊：ただし合計 3MB まで。

■ OPP（Object Push Profile）

- JPEG 画像、および vObject に対応。
  ☞ 本書 74 ページ「印刷可能なデータと適切な用紙サイズ」
- 本製品の操作パネルでダイレクト印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。

■ HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

■ BPP（Basic Printing Profile）

- BPP 規定の通信手順に従って、XHTML-Print ドキュメントの印刷ができます。
- XHTML-Print ドキュメント形式で対応する画像は JPEG（Exif）、PNG、BMP になります。
- 送信相手が選択した通信方法によって、操作パネルの設定が有効になる場合と、携帯電話側での設定が有効になる場合があります。

参考

- ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetooth ユニットと通信することはできません。
- 通信可能な Bluetooth 製品については、エプソンのホームページでもご案内しています。
  < http://www.epson.jp >

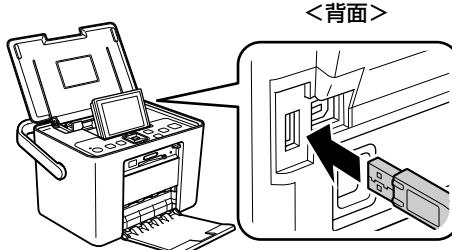
Bluetooth ユニットの通信設定

Bluetooth で印刷を始める前に、通信設定をします。

1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

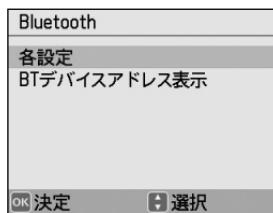
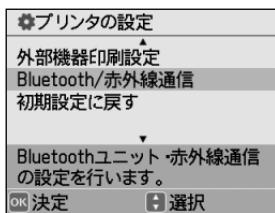
本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1

2 本製品に Bluetooth ユニットを接続します。

Bluetooth
ユニット本体
（型番：PMDBU3）

①Bluetooth ユニットを接続

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［プリンタの設定］を選択します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 ［Bluetooth/ 赤外線通信］から［各設定］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［Bluetooth/赤外線通信］を選択
②【OK】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［各設定］を選択
④【OK】ボタンで決定

5 80 ページから 81 ページの表を参照して順番に設定します。

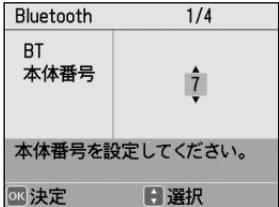
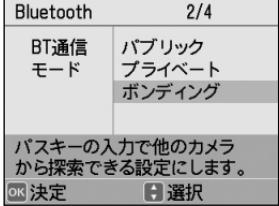
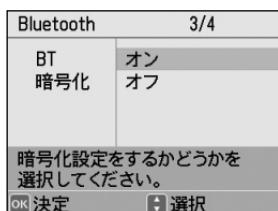
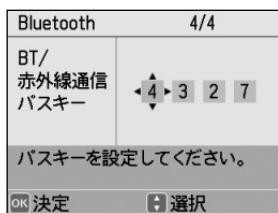
※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

<table>
<tr><td>BT 本体番号</td><td>【設定値と機能】
・ 0 ～ 9（初期値：1）
Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応の製品がある場合に、本体番号を設定することで、本製品を見分けることができます。

【設定方法】

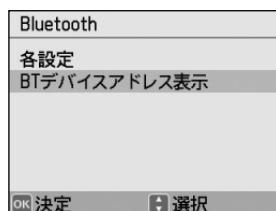
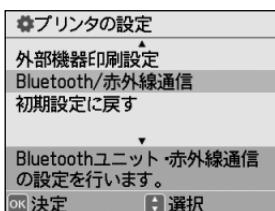
①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択
②【OK】ボタンで次へ
設定後に電源を一旦オフにすることで、設定が有効になります。</td></tr>
<tr><td>BT 通信モード</td><td>【設定値と機能】
・ パブリック
Bluetooth 対応の製品から検索と印刷ができます。
・ プライベート
Bluetooth 対応の製品から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。
・ ボンディング
Bluetooth 対応の製品から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。

【設定方法】

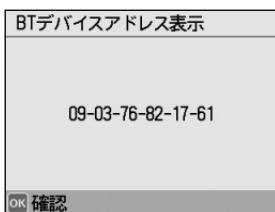
①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択
②【OK】ボタンで次へ
※【戻る】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります</td></tr>
</table>

BT 暗号化	【設定値と機能】 ・ オン / オフ ［オン］に設定すると、通信の内容を暗号化できます。パスキーの入力が必要になります。 【設定方法】 Bluetooth 3/4 BT 暗号化　オン　オフ 暗号化設定をするかどうかを選択してください。 OK 決定　選択 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【OK】ボタンで次へ ※【戻る】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります
BT/ 赤外線通信パスキー	【設定値と機能】 ・ 任意の 4 桁の数字（初期値：0000） パスキーを設定すると、印刷を実行する際にデジタルカメラなどでパスキー（任意の 4 桁の数字）を入力する必要があります。 他の Bluetooth 製品からの混信を防ぐ場合などに使います。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［オン］に設定してください。 【設定方法】 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【◀】か【▶】ボタンで桁を変更 ③すべての桁を設定したら【OK】ボタンで決定 ④確認画面が表示されたら【OK】ボタンを押して、設定終了 ※【戻る】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります

Bluetooth デバイスアドレス表示

Bluetooth ユニットが固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。
Bluetooth 通信アドレスは変更できません。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[プリンタの設定］を選択します。

2 [Bluetooth/ 赤外線通信］から［BT デバイスアドレス表示］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［Bluetooth/赤外線通信］を選択
②【OK】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［BT デバイスアドレス表示］を選択
④【OK】ボタンで決定

3 Bluetooth デバイスアドレスを表示します。

①デバイスアドレスを確認し、【OK】ボタンを押す
※Bluetooth ユニットごとにデバイスアドレスは異なります。

※ 本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。

Bluetooth 通信で印刷する

印刷前に Bluetooth ユニットの接続と通信設定を行ってください。
☞ 本書 79 ページ 「Bluetooth ユニットの通信設定」

1 本製品の電源をオンにして、用紙をセットします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 2 〜手順 3
HCRP プロファイルの場合は手順 2 に進みます。

参考

- まだ［外部機器印刷設定］をしていない場合は、印刷を実行する前に設定しておいてください。
  ☞ 本書 73 ページ「デジタルカメラや携帯電話から印刷するときの設定をする」
- BIP では、あらかじめ選択した写真を印刷するため、本製品でほかの写真を印刷することはできません。

2 お使いの Bluetooth 対応の製品での設定を行い、印刷を実行します。

設定方法はお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

3 プリンタがデータを受信して印刷が始まります。

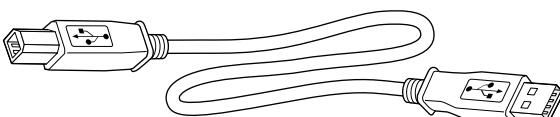
データを受信すると、操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されます。

参考

- 通信範囲は約 10m ですが、通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。
- 印刷中に Bluetooth ユニットを取り外さないでください。プリンタが誤作動するおそれがあります。
- 操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されないときは、Bluetooth ユニットの通信設定を確認してください。
  ☞ 本書 79 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

パソコンとつないで印刷しよう

プリンタとパソコンをつなげる

本製品とパソコンを接続します。接続するには USB ケーブルが必要です。

参考

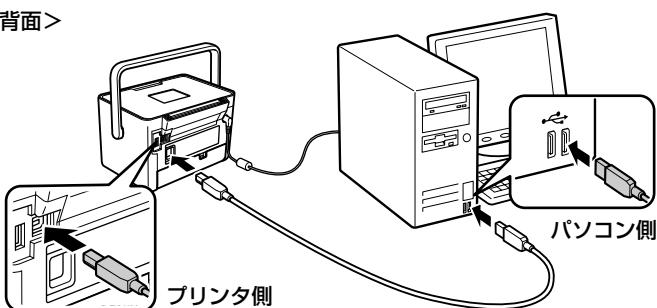
- USB ケーブルは別売です。エプソン純正の USB ケーブル（型番：USBCB2）のご使用をお勧めします。

1 本製品の電源をオフにします。

2 本製品のパネルカバーを閉じて取っ手を上げます。

3 USB ケーブルで本製品とパソコンをつなぎます。

USB ケーブルは、差し込み口の形状を確認し、奥までしっかりと差し込んでください。

<背面>

参考

- ご利用のパソコンによって接続するコネクタの位置が異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコン本体に USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んでもかまいませんが、ディスプレイやキーボードに付いている USB コネクタの差し込み口には接続しないでください。正常に認識されない場合があります。
- USB ハブを使用している場合は、パソコンに直接接続されているハブに、プリンタを接続してください。

4 本製品の取っ手を背面側に倒し、パネルカバーを開きます。

パソコンの準備（ソフトウェアのインストール）

付属のソフトウェアやパソコンでの印刷ガイド（電子マニュアル）をパソコンにインストールします。

インストール条件について

インストール条件	インストール時の アカウントについて
Windows 2000 / Windows XP / Windows Vista	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
Mac OS X v10.3.9 以降で、USB I/F を標準搭載している Macintosh	

※他のアプリケーションソフトやウィルスチェックプログラムを起動している場合は、インストールを開始する前にすべて終了してください。

！重 要

- インストール中に「古いバージョンのソフトウェアがインストールされている」旨のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってソフトウェア CD-ROM に収録されている新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてください。古いバージョンでは、一部の機能が正常に動作しないことがあります。

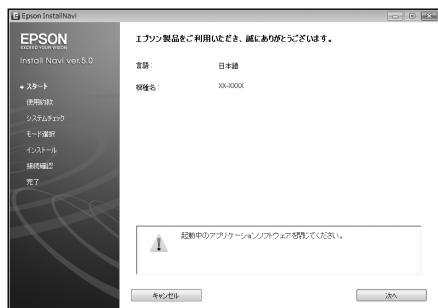
インストールの手順

1 付属の『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。

Mac OS X の場合は、表示された画面の［Install Navi］アイコンをダブルクリックしてください。

参考

- Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら［EPSETUP.EXE の実行］をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では［許可］または［続行］をクリックします。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

2 以下の画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

参考

- 画面が表示されない場合は以下をご確認ください。

Windows XP/Vista の場合：［スタート］－［マイコンピュータ（コンピュータ）］の順にクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

Windows 2000 の場合：デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

参考

- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されているときは、【キャンセル】ボタンをクリックして画面を閉じ、本製品の電源をオフにしてください。
- インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

電子マニュアルのご案内

パソコンからの用途に応じた印刷方法をはじめ、困ったときの対処方法を説明しています。
また、付属ドライバ / ソフトウェアについての概要や使い方、メンテナンスなど製品に関して知りたいことを最適な電子マニュアルで紹介しています。
『パソコンでの印刷ガイド』（電子マニュアル）はパソコンの画面で見るマニュアルです。

表示方法

デスクトップ上の［Epson XX-XXXX 電子マニュアル］アイコンをダブルクリックしてください

参考

- ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。CD-ROM を毎回セットする必要はありません。
- Microsoft Internet Explorer 6.0＊以上（Windows）、Safari 1.3 以上（Mac OS X）などのブラウザでご覧ください。
  ＊：Windows 98 では Microsoft Internet Explorer 5.0 以上
- PDF データをダウンロードすることもできます。ダウンロードサービスは、ホームページでご案内しています。
  ＜ http://www.epson.jp/support/ ＞

印刷以外の便利な機能を使いこなそう

メモリカードのデータを外部記憶装置に保存する

デジタルカメラで撮影した写真データを残しておきたい、でもメモリカードがいっぱいになるから削除しないと・・・そんな時は、パソコンを介さずに、メモリカードのデータを外部記憶装置に保存することができます。また、保存したデータを印刷することもできます。
※本製品とパソコンを接続しているときは、接続を解除してください。パソコンと接続していると、この機能は使用できません。

外部記憶装置に写真データを保存する方法

1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

2 保存したい写真の入っているメモリカードを 1 枚だけセットします。

本書 24 ページ「メモリカードのセット」

3 本製品に外部記憶装置を接続します。

本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

4 保存する写真を選択します。

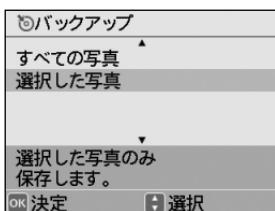
本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 3 ～手順 4
すべての写真を保存したいときは、手順 4 を行わず、手順 5 に進みます。

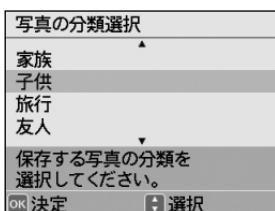
- 1 つの写真を重複して保存することはできません。

1 つの写真に対して枚数を何枚に設定しても、保存される写真は 1 枚のみです。

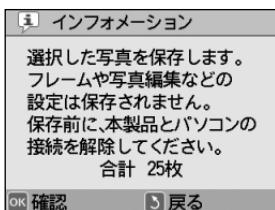
- 写真がグループ分けされている場合、表示しているグループの写真の中から選択することになります。すべての写真を保存しようとしても、表示している写真しか保存できません。
  別のグループの写真を保存したい場合は、あらかじめ別のグループの写真を表示させておく必要があります。本書 97 ページ「別のグループの写真を表示する」

5 【メニュー】ボタンを押して【▲】か【▼】ボタンで［バックアップ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

6 手順４で保存する写真を選択しているときは［選択した写真］を、すべての写真を保存するときは［すべての写真］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定
※［すべての写真］を選択しても、保存できるのは 999 枚までです。
※［すべての写真］を選択しても、本製品が認識できる写真のみ保存されます。「？」で表示されるなどの非対応データは保存されません。

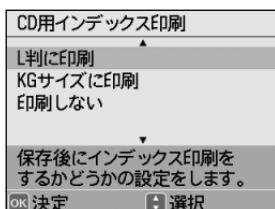
7 保存する写真の分類を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

- ここで保存する写真を別のエプソン製プリンタで読み込むときは、【▲】か【▼】ボタンで［分類しない］を選択し、【OK】ボタンで決定してください。

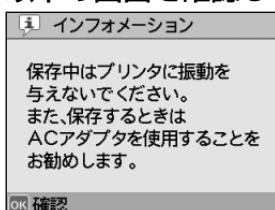
8 保存する写真の枚数を確認します。

①【OK】ボタンで決定

9 保存する写真のインデックス（一覧）を印刷するかどうかを選択します。

インデックスを印刷するときは、印刷できる用紙の中から L 判または KG サイズをセットし、セットした用紙サイズを選択してください。

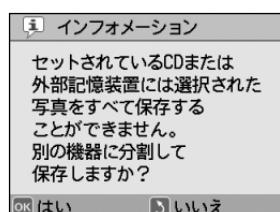
☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

10 以下の画面を確認して、保存を実行します。

インフォメーション
保存中はプリンタに振動を
与えないでください。
また、保存するときは
ACアダプタを使用することを
お勧めします。
OK 確認

①【OK】ボタンを押す
※画像の保存には通常の印刷よりも電力を消費するため、AC アダプタを使用することをお勧めします。

参考

- 本製品では、外部記憶装置に保存したデータは、削除できません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください。
  CD-R/DVD-R のデータはパソコンからも削除することはできません。
- 保存する写真データの合計サイズが外部記憶装置にセットしたメディアの容量を上回っているときは、2 枚以上のメディアに分割して保存するかどうかの確認画面が表示されます。

インフォメーション
セットされているCDまたは
外部記憶装置には選択された
写真をすべて保存する
ことができません。
別の機器に分割して
保存しますか？
OK はい　いいえ

①【OK】ボタンを押して、2 枚以上のメディアに分割して保存
※分割して保存しない場合は【戻る】ボタンを押して保存を中止します。

！重要

- 保存中は、本製品に触れたり、操作しないでください。正常に保存されなかったり、既に保存されていたデータが破損することがあります。

11 手順９で写真のインデックス（一覧）を印刷する設定をしているときは、続けて写真のインデックス（一覧）が印刷されます。

12 保存が完了したら、外部記憶装置を取り外します。

「保存が正常に終了しました。」という画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して、外部記憶装置にアクセス中でないことを確認してから、取り外してください。

外部記憶装置に保存された写真を印刷する

1 写真データが保存されている外部記憶装置をセットします。

☞ 本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」
どのフォルダから写真データを読み込むかの確認画面が表示された場合は、【▲】【▼】ボタンでフォルダを選択し、【OK】ボタンで決定します。

参考

- メモリカードがセットされているときに外部記憶装置をセットしても、外部記憶装置は認識されません。メモリカードをあらかじめ取り出してから外部記憶装置をセットするか、写真の読み込み元を変更してください。
  ☞ 本書 93 ページ「写真の読み込み元を変更する」
- ファイル容量が 3MB を超える画像*を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から直接印刷せずに、メモリカードから印刷、またはパソコンから印刷することをお勧めします。
  ＊：6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像は、おおむね 3MB 以上になります。

2 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 3 から手順 7 を参照し、印刷を実行します。

写真の読み込み元を変更する

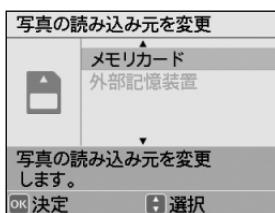
メモリカード、外部記憶装置の読み込み元を変更することができます。

1 【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示し、[写真の選択方法を変更]を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 [写真の読み込み元を変更]を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 読み込み元を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

外部記憶装置を選択すると、どのフォルダから写真を読み込むかの選択画面が表示されることがあります。【▲】【▼】ボタンでフォルダを選択し、【OK】ボタンで決定します。

4 選択した読み込み元の写真が表示されます。

- 表示されている写真をすべて印刷するかどうかの確認画面が表示された場合は、【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定してください。

外部記憶装置の読み込み元フォルダを変更する

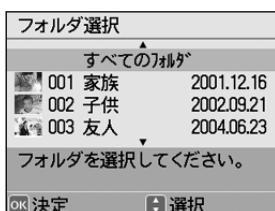
外部記憶装置がセットされているときに、読み込み元フォルダを変更することができます。

1 【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示し、［写真の選択方法を変更］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

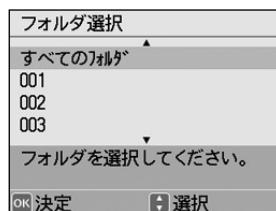
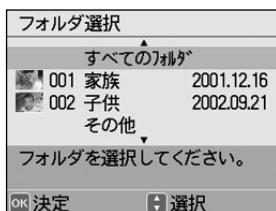
2 ［フォルダから選択］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 読み込みたい写真の保存されているフォルダを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

選択したフォルダの写真が表示されます。

参考

- 表示されている写真をすべて印刷するかどうかの確認画面が表示された場合は、【▲】【▼】ボタンで選択し、【OK】ボタンで決定してください。
- 以下の方法で保存（バックアップ）した写真を読み込む場合、上記の手順とは異なります。
  - 本製品での保存（バックアップ）時に［分類しない］を選択した場合（本書 89 ページ手順 7）
  - 他のエプソン製プリンタで保存（バックアップ）した写真

①【▲】か【▼】ボタンで［その他］を選択
②【OK】ボタンで決定

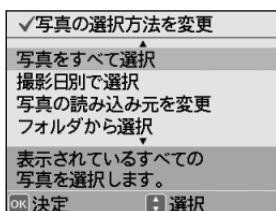
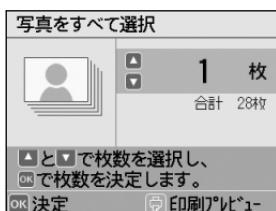
フォルダ選択
すべてのﾌｫﾙﾀﾞ
001
002
003
フォルダを選択してください。
OK 決定 選択

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

※ 分類フォルダがない場合は、左の画面は表示されず、右の画面が表示されます。

表示されている写真を一度にすべて選択する

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2 を参照し、写真を選ぶ画面を表示します。

2 【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示し、［写真の選択方法を変更］メニューの［写真をすべて選択］を選択します。

3 写真を何枚ずつ印刷するかを設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで枚数を設定
②【OK】ボタンで決定

参考

- 手順 3 の画面では、すべての写真に同じ印刷枚数を設定します。特定の写真だけ印刷枚数を変更したい場合は、【OK】ボタンを押した後に表示される写真を選ぶ画面で印刷枚数を変更できます。
  ☞ 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 3 ～手順 4
- メモリカードなどをセットしたときに表示される「すべて印刷確認画面」で、表示されている写真を簡単にすべて印刷することができます。
  ☞ 本書 38 ページ「写真をすべて印刷する」

写真をスライドショーで見る

表示されている写真をスライドショーで見ることができます。

1 メモリカードまたは外部記憶装置をセットします。

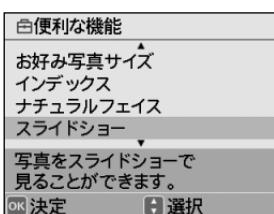
☞ 本書 24 ページ「メモリカードのセット」
☞ 本書 29 ページ「外部記憶装置の接続方法」

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［便利な機能］を選択し、【OK】ボタンを押します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［スライドショー］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

便利な機能
お好み写真サイズ
インデックス
ナチュラルフェイス
スライドショー
写真をスライドショーで
見ることができます。
OK 決定　選択

①【▲】か【▼】ボタンで［スライドショー］を選択
②【OK】ボタンを押す

4 表示されている写真のスライドショーが始まります。

- スライドショー中に【印刷】ボタンを押すと、表示されている写真を印刷できます。
  ☞ 本書 17 ページ「操作パネル部」
- 【電源】ボタン、【印刷】ボタン以外のボタンを押すと、スライドショーを終了して写真を選ぶ画面に戻ります。

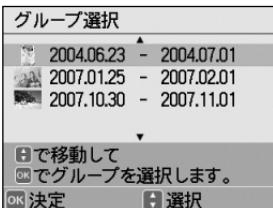
別のグループの写真を表示する

メモリカードまたは外部記憶装置に 1000 枚以上の写真がある場合、一度に 1000 枚以上の写真を表示できないため、表示したい写真のグループを選択します。

1 【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示します。

本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 ［写真の選択方法を変更］の［グループ変更］を選択します。

3 表示したいグループを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンでグループを選択
②【OK】ボタンで決定

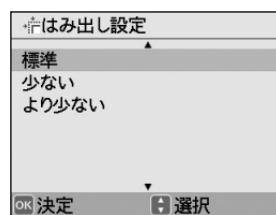
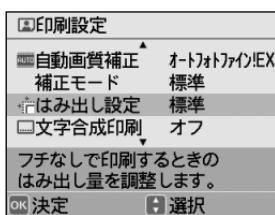
4 選択したグループの写真が表示されます。

フチなしはみ出し量を調整する

［1 面フチなし］レイアウトで印刷すると、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になるときは以下の手順でフチなしはみ出し量を調整します。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［印刷設定］を選択します。

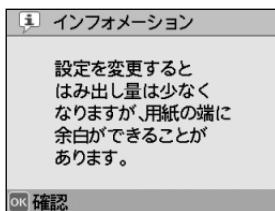
☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 下表を参照して［はみ出し設定］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［はみ出し設定］を選択
②【OK】ボタンで決定

はみ出し設定
標準
少ない
より少ない
決定　選択

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
標準 （購入時の設定）	フチなし標準の拡大率で印刷します。フチが完全になくなります。
少ない	フチなし標準より少なめの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。
より少ない	フチなしギリギリの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。

3 以下の画面が表示された場合は、確認して、【OK】ボタンを押します。

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは［いいえ］を選択します。

画面の表示を切り替える

以下の例で使用している「写真を選ぶ画面」と、「フレーム選択画面」（本書 59 ページ手順 4）では、【表示切替】ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

表示	画面
6 面	写真を選ぶ／印刷枚数／合計 1枚／2005年 11月 05日／7/ 25／OK 写真選択／印刷ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ
↓ 16 面	写真を選ぶ／印刷枚数
↓ 1 面（情報表示あり）	写真を選ぶ／印刷枚数／合計 1枚／7/ 25／OK 写真選択／印刷ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ
↓ 1 面（情報表示なし）	印刷枚数

参考

- 6 面、16 面表示時に、撮影に使用したデジタルカメラによっては、写真の周囲に黒い枠が表示されることがあります。

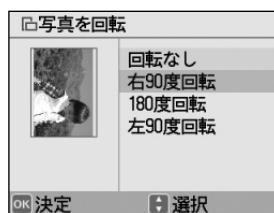
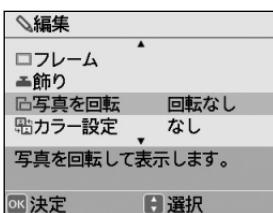
写真を回転して表示する

※この設定は、印刷結果には反映されません。

1 本書 32 ページ「基本の印刷の流れをマスターしよう」手順 1 ～手順 2 を参照して、回転する写真を選択します。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［編集］を選択します。

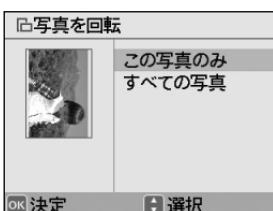
☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して［写真を回転］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［写真を回転］を選択
②【OK】ボタンで決定

写真を回転
回転なし
右90度回転
180度回転
左90度回転
決定
選択

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
回転なし（購入時の設定）	回転を行いません。
右 90 度回転	写真を右に 90 度回転します。
180 度回転	写真を 180 度回転します。
左 90 度回転	写真を左に 90 度回転します。

4 どの写真にこの設定を反映するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

「設定を続けますか？」というメッセージが表示されたときは［いいえ］を選択します。

確認画面の表示 / 非表示を設定する

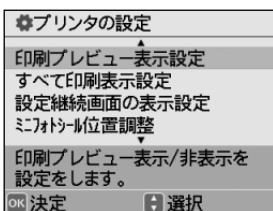
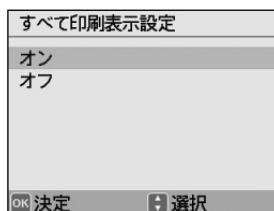
以下の 3 つの確認画面は、毎回表示するかしないかを設定しておくことができます。

- 印刷プレビュー画面（本書 33 ページ手順 7）
- すべて印刷確認画面（本書 38 ページ手順 2）
- 設定継続画面（本書 37 ページ手順 4）

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタの設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 下表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

すべて印刷表示設定
オン
オフ
決定 選択

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

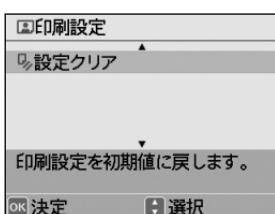
設定項目	設定値
印刷プレビュー表示設定	オン：印刷開始前に印刷プレビューを表示します。 オフ：印刷プレビューを表示しません。
すべて印刷表示設定	オン：写真読み込み時に、表示している写真をすべて印刷するかどうかの確認画面を表示します。 オフ：すべて印刷確認画面を表示しません。
設定継続画面の表示設定	オン：印刷設定後に、設定を続けるかどうかの確認画面を表示します。 オフ：設定継続画面を表示しません。

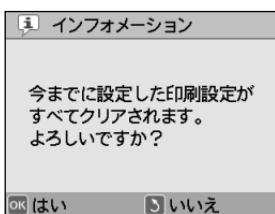
印刷設定をクリアする

［印刷設定］メニューで設定した項目のみ、購入時の状態に戻します。
［編集］や［プリンタの設定］なども含めて、すべての設定値を初期設定に戻したいときは、以下をご覧ください。
☞『楽ラク入門ガイド』21 ページ「何が何だかわからなくなってしまったから、最初からやり直したい！」

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［印刷設定］を選択します。

☞ 本書 152 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 ［設定クリア］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［設定クリア］を選択
②【OK】ボタンで決定

3 画面を確認し、リセットを実行します。

①【OK】ボタンで決定

参考

- 以下のときは、［編集］と印刷枚数の設定のみがクリアされます。
  - 操作パネルの【中止 / 設定クリア】ボタンを押したとき
  - 本製品の電源をオン / オフしたとき
  - メモリカードをセットしたとき
  - 印刷が終了したとき

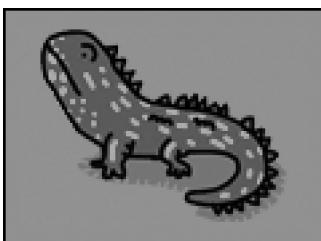
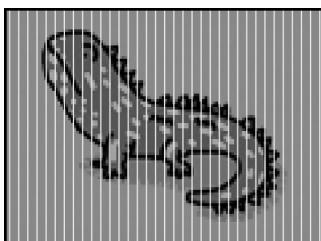
※ ただし､｢撮影日別で選択｣を行った後に【中止 / 設定クリア】ボタンを押した場合､［編集 / 撮影日解除］を選択すると、［編集］メニューで行った設定と撮影日別の設定がクリアされます。

上手に長くお使いいただくコツ

本製品をお使いになる上で、知っておいていただきたい、取り扱いやお手入れ方法などについて説明します。

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常

目詰まり時

■プリントヘッドの乾燥を防ぐ

- 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには

- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン / オフは、必ず操作パネル上の【電源】ボタンで行ってください。

- 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

- インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してしまいます。

これを防ぐには

インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

■ホコリが付かないようにする

- プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
使用しないときは、内部にホコリが入らないように、パネルカバーと排紙トレイを閉じてください。

■印刷を実行する前に

- 前ページのようにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、使用環境によっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには
印刷品質を重視する写真の印刷や、大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
☞ 本書 106 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

■クリーニングシートを通紙する

- お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが付属している場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。

  クリーニングシートは以下のホームページからお買い求めいただけます。
  エプソンダイレクト< http://www.epson.jp/shop/ >
  商品名：PX/PM 用クリーニングシート

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[プリンタのお手入れ]を選択します。
②【▲】か【▼】ボタンで[クリーニングシート通紙]を選択し、【OK】ボタンを押します。
③本製品にクリーニングシートをセットします。
④【OK】ボタンを押します。
※③～④の手順を 3 回程度繰り返してください。
⑤クリーニングを終了するときは【戻る】ボタンを押します。

印刷物（印刷後）の取り扱い

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

- 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙に付属の取扱説明書をご覧ください。

乾燥方法

印刷後は、印刷面が重ならないように注意して十分に乾燥させてください。やむをえず重ねて乾燥させる場合は、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ挟んでください。
十分に乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。

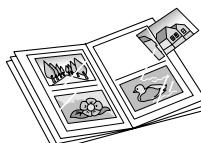
！重 要

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後はすみやかに保存・展示を行ってください。

■クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存

光や空気が遮断されるため、変色の度合いをきわめて低く抑えることができます。

■ガラス付き額縁に入れて展示

空気が遮断されるため、変色の度合いを抑えることができます。

参考

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
- ミニフォトシールを保存するときは、吸湿性のあるコピー用紙などに挟んでクリアファイルに入れてください。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりする場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェックパターンの印刷と目詰まりの確認

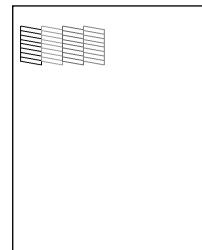
1 使用できる用紙の中からＬ判、KG サイズ、ハガキのいずれかをセットします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」

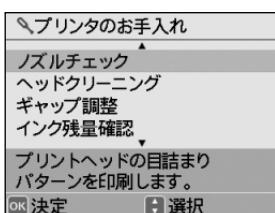
！重要

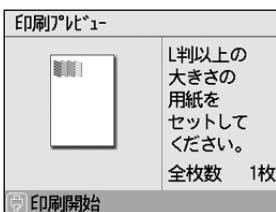
- 本製品で使用できる用紙（本製品に付属の「メンテナンスセット」または市販の「写真用紙<光沢>」、「写真用紙エントリー<光沢>」、「インクカートリッジ＆Ｌ判写真用紙セットの写真用紙」など）をお使いください。
  普通紙などは使用しないでください。製品内部に用紙が詰まり、故障につながるおそれがあります。
  ☞ 本書 23 ページ「印刷できる用紙」

参考

- ノズルチェックパターンは右図のように用紙の上部にのみ印刷されます。用紙のセット向き（上下）を変えることで、１枚の用紙に２回ノズルチェックパターン印刷をすることができます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタのお手入れ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

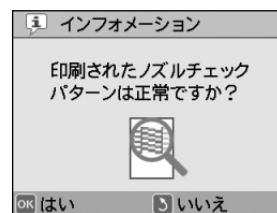
3 ［ノズルチェック］を選択します。

プリンタのお手入れ
▲
ノズルチェック
ヘッドクリーニング
ギャップ調整
インク残量確認
▼
プリントヘッドの目詰まりパターンを印刷します。
OK 決定　　選択

①【▲】か【▼】ボタンで［ノズルチェック］を選択
②【OK】ボタンで決定

4 【印刷】ボタンを押してノズルチェックパターンを印刷します。

①【印刷】ボタンで印刷を実行

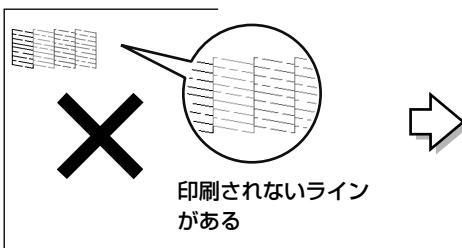
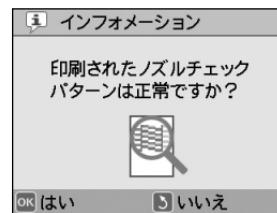
5 下図を参照して、印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

正常に印刷できた場合

ノズルは目詰まりしていません。

①【OK】ボタンを押してノズルチェックを終了

参考

- ノズルチェックパターンが正常に印刷される場合は、きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下をご覧ください。
  ☞ 本書 125 ページ「印刷品質 / 結果のトラブル」

印刷されないラインがある場合

ノズルが目詰まりしています。

①【戻る】ボタンを押す

この後は以下を参照し、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。

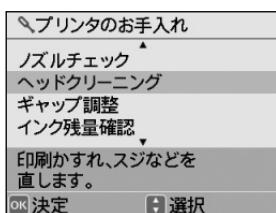
☞ 本書 108 ページ「ヘッドクリーニング」手順 3 〜手順 4

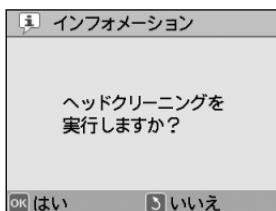
ヘッドクリーニング

参考

- ヘッドクリーニングはインクを吐出して、プリントヘッドのノズルをクリーニングします。インクが消費されるため、必要以上に行わないでください。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタのお手入れ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

2 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ヘッドクリーニング］を選択
②【OK】ボタンで決定

3 画面を確認し、【OK】ボタンを押してヘッドクリーニングを実行します。

①【OK】ボタンを押す

4 ノズルの目詰まりを再確認します。

☞ 本書 106 ページ「ノズルチェックパターンの印刷と目詰まりの確認」

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 2 回程度繰り返しても改善されないときは、本製品の電源をオフにして 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

ギャップ調整

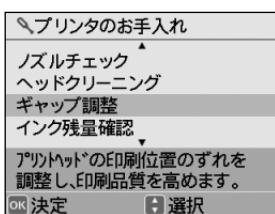
縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドの印刷位置がずれている可能性があります。以下の手順で、ギャップ調整してください。

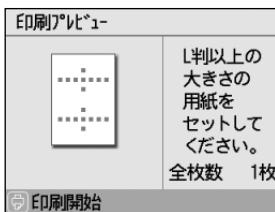
1 使用できる用紙の中からＬ判、KG サイズ、ハガキのいずれかをセットします。

!重要

- 必ず本製品で使用できる用紙（本製品に付属の「メンテナンスセット」または市販の「写真用紙<光沢>」、「写真用紙エントリー<光沢>」、「インクカートリッジ& L 判写真用紙セットの写真用紙」など）をお使いください。
  普通紙などは使用しないでください。製品内部に用紙が詰まり、故障につながるおそれがあります。
  ☞ 本書 23 ページ「印刷できる用紙」

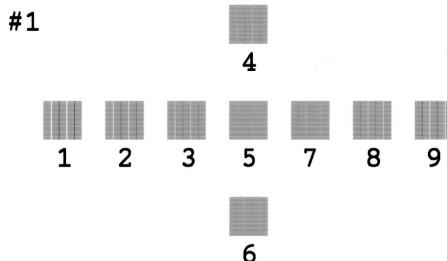
2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタのお手入れ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 ［ギャップ調整］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ギャップ調整］を選択
②【OK】ボタンで決定

4 【印刷】ボタンを押してギャップ調整パターンを印刷します。

①【印刷】ボタンで印刷を実行

プリンタのお手入れ

5 印刷されたギャップ調整パターンを確認します。

＃１、＃２について、それぞれもっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探します。下図の＃１の例では「5」を選択します。

6 印刷結果の情報を設定します。

＃１、＃２について、手順 5 で確認した番号を設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで、＃１で確認した番号を選択
②【OK】ボタンで次へ

③【▲】か【▼】ボタンで、＃２で確認した番号を選択

7 【OK】ボタンを押して、元の画面に戻ります。

次の印刷結果から、調整結果が反映されます。

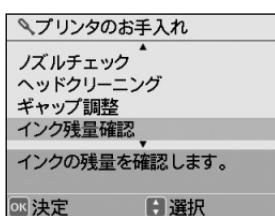
インクカートリッジを交換する

インク残量を確認する

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、【▲】か【▼】ボタンで［プリンタのお手入れ］を選択し、【OK】ボタンを押します。

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されているときは、インク残量の表示はできません。インクカートリッジを交換してください。

☞ 本書 113 ページ「インクカートリッジの交換方法」

2 ［インク残量確認］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［インク残量確認］を選択
②【OK】ボタンで確認

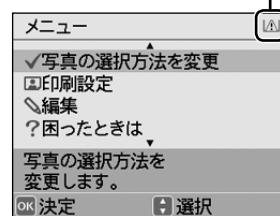
3 インク残量が表示されます。

インク残量が十分な状態

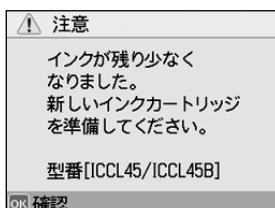
インク残量が少ない状態

4 残量を確認したら、【OK】ボタンを押して、確認画面を閉じます。

参考

- インク残量が少なくなると、液晶ディスプレイ上に右図のようなアイコンが表示されます。
必要に応じて、新しいインクカートリッジをご用意ください。

プリンタのお手入れ

新しいインクカートリッジの用意

インクが残り少なくなると、インク残量表示で「⚠」マークが表示されたり、以下の画面が表示されたりします。
しばらくは印刷できますが、インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると印刷できなくなります。
お早めに新しいインクカートリッジをご用意ください。

■エプソンのインクカートリッジ純正品型番

インクカートリッジ：ICCL45
インクカートリッジ大容量パック：ICCL45B

インクカートリッジと写真用紙のセットもございます。
インクカートリッジ＆Ｌ判 200 枚セット：ICCL45V
インクカートリッジ大容量パック＆Ｌ判 300 枚セット：ICCL45BV

■インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できないことがあります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

■インクカートリッジの回収について

学校に持っていこう！

郵便局に持っていこう！

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/inkrecycle/ >

インクカートリッジの交換方法

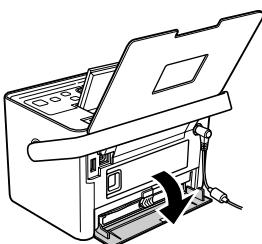
インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると、印刷ができなくなります。インクカートリッジを交換してください。エプソンの純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。

☞ 本書巻末「消耗品とオプション製品について」

1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 1

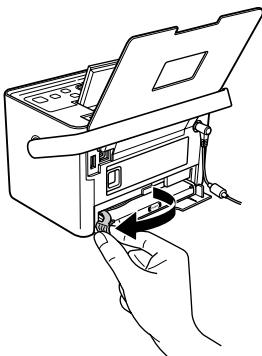
2 インクカートリッジカバーを開きます。

<背面>

参考

- インクの初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを使います。そのため、1 回目に取り付けるインクカートリッジよりも、2 回目以降に取り付けるインクカートリッジの方が印刷できる枚数は多くなります。

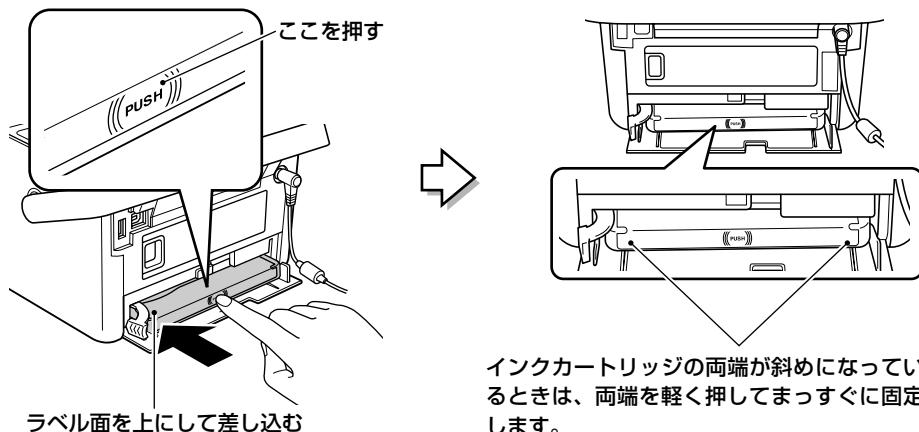
※写真データによっては、印刷できる枚数が L 判写真用紙 20 枚を下回ることがありますので、あらかじめご了承ください。

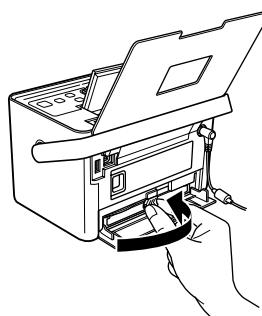
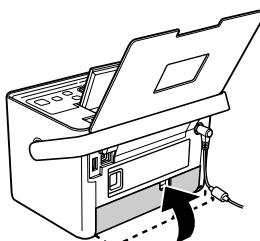
3 下図を参照し、インク交換レバーをゆっくりと水平にスライドさせます。

インクカートリッジが手で取り出せる位置まで出てきたら、取り出します。

参考

- 本製品は、インクが 1 色でも限界値を下回ると印刷できなくなります。印刷するデータの内容やご使用方法によっては特定のインクの消費が早くなり、他のインクが残ることがあります。
- 本製品は、インクカートリッジ内の廃インクパッド（クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品）の吸収量が限界に達すると、インクが残っていても印刷できなくなります。
  ☞ 本書 117 ページ「エラー表示一覧」

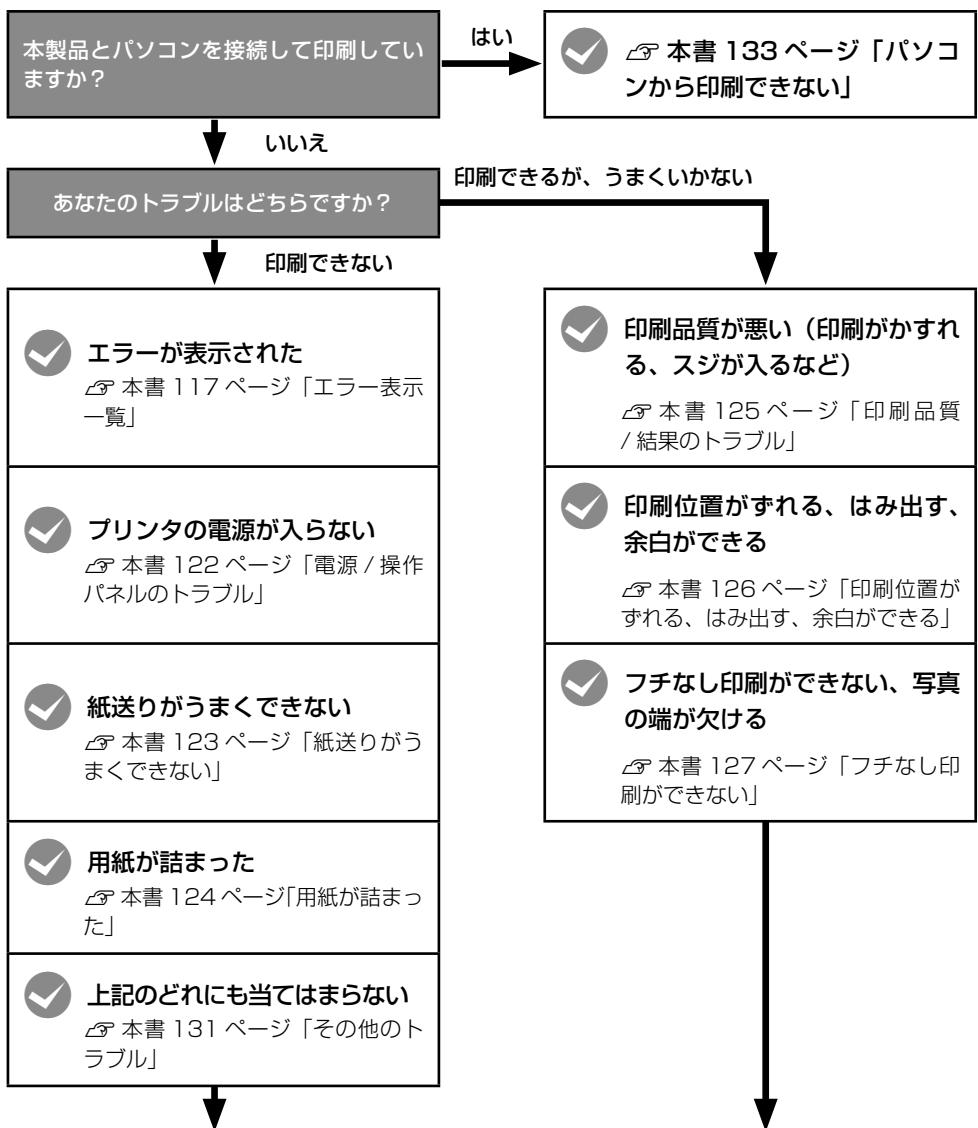
4 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

5 インクカートリッジを差し込み、固定されるところまで押し込みます。

6 下図を参照し、インク交換レバーをゆっくりと水平にスライドさせてロックします。

インクカートリッジがプリンタにセットされます。

7 インクカートリッジカバーを閉じます。

!重要

- 取り外したインクカートリッジのインク供給孔部にはインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

トラブルの自己診断

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどは、まず以下を参照して、状況に応じて対処してください。

それでもトラブルを解決できないときは・・・
今、インターネットに接続できる環境ですか？

はい

エプソンのホームページで調べてみましょう
< http://www.epson.jp/faq/ >

いいえ

それでもトラブルを解決できないときは・・・
本製品が故障していないかどうか調べてみましょう

ノズルチェックパターンを印刷し、本製品の動作や印刷機能に問題がないかを確認してください。

本書 106 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

ノズルチェックパターンを印刷できた

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください

本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境をご確認の上ご連絡ください。

本書 139 ページ「故障かな？と思ったら（お問い合わせの前に）」

ノズルチェックパターンを印刷できない

故障している可能性があります

お買い求めいただいた販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。

本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

また、以下をご確認ください。

本書 140 ページ「修理 / アフターサービスについて」
本書 141 ページ「本製品を持ち運ぶときは」

エラー表示一覧

プリンタに何らかのトラブルが発生した場合、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。
エラーメッセージが表示されたときは、下表をご覧いただき対処してください。

	エラーメッセージ	対処方法
インク関係	インク残量が限界値以下のため カートリッジ交換が必要です。 型番［ICCL45/ICCL45B］＊1	インク残量が限界値を下回りました。 インクカートリッジを交換してください。純正品のご使用をお勧めします。 本書 113 ページ「インクカートリッジの交換方法」 『楽ラク入門ガイド』20 ページ「覚えておきたいインクの知識」
	インクが残り少なく なりました。 新しいインクカートリッジ を準備してください。 型番［ICCL45/ICCL45B］＊1	【OK】ボタンを押すと写真を選ぶ画面に戻り、印刷ができるようになりますが、必要に応じて新しいインクカートリッジを準備してください。 『楽ラク入門ガイド』20 ページ「覚えておきたいインクの知識」
	インクカートリッジを 認識できませんでした。 正しいインクカートリッジを セットしてください。 純正品のご使用を お勧めします。	インクカートリッジをセットし直してください。インクカートリッジをセットし直してもエラーが発生する場合には、インクカートリッジを交換してください。 本書 113 ページ「インクカートリッジの交換方法」
	純正品ではありません。 型番［ICCL45/ICCL45B］ プリンタ本来の性能を発揮 できないことがあります。	エプソン純正品以外のインクカートリッジがセットされています。 本製品は、エプソンの純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うとプリンタ本体や印字品質に悪影響が出るなど、プリンタ本体の性能を発揮できない場合があります。 純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。 本書巻末「消耗品とオプション製品について」

	エラーメッセージ	対処方法
インク関係	インクが残り少ないため クリーニングできません。 インクカートリッジを 交換してください。	インクの残量が少ないときはヘッドクリーニングは実行できません。新しいインクカートリッジに交換してから再度ヘッドクリーニングを実行してください。 本書 113 ページ「インクカートリッジの交換方法」
	廃インクパッドの吸収量が 限界に近づいています。 マニュアルをご覧ください。	プリンタ内の廃インクパッド*[2]の吸収量が限界に近付いています。*[3]お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インクパッドの交換をご依頼ください。 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」 ※お客様ご自身による交換はできません。
	廃インクパッドの吸収量が 限界に達しました。 インクカートリッジを 交換してください。 型番［ICCL45/ICCL45B］*[1]	インクカートリッジ内の廃インクパッド*[2]の吸収量が限界に達しました。新しいインクカートリッジに交換してください。 純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。 本書 113 ページ「インクカートリッジの交換方法」
	インクチューブの耐久性が 限界に近付いています。 お早めにお買い求めの販売店か 修理センターへ、交換を ご依頼ください。	プリンタ内のインクチューブの耐久性が限界に近付いています。 お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、インクチューブの交換をご依頼ください。 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」 ※お客様ご自身による交換はできません。
	インクチューブの耐久性が 限界に達しました。 お買い求めの販売店か 修理センターへ、交換を ご依頼ください。	お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、インクチューブの交換をご依頼ください。 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」 ※お客様ご自身による交換はできません。
用紙関係	用紙がなくなりました。 用紙を正しくセットして 【OK】ボタンを押してください。	用紙をセットし直して、【OK】ボタンを押してください。 本書 20 ページ「用紙のセット方法」
	用紙が詰まりました。 詰まった用紙を取り出した後、 【OK】を押して内部に残った 用紙を排出してください。	詰まった用紙を取り除いて、【OK】ボタンを押してください。 本書 124 ページ「用紙が詰まった」
メモリカード関係	メモリカードが セットされていません。 保存を中止します。	バックアップしたいデータの入ったメモリカードをセットしてください。 本書 24 ページ「メモリカードのセット方法」
	メモリカードを 認識できませんでした。 マニュアルをご覧ください。	メモリカードが本製品に対応しているかをご確認ください。 本書 148 ページ「対応メモリカード」

	エラーメッセージ	対処方法
その他	プリンタエラーが発生 しました。電源をオフにした後 再度電源をオンにして ください。 詳しくはマニュアルを ご覧ください。	電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。また、本製品内部に異物（輸送用の保護材、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されないときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
	プリンタ内の部品調整が 必要です。 お買い上げの販売店 またはエプソンの修理センター までご連絡ください。	お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
外部記憶装置関係	外部記憶装置が 接続されていないため 保存できません。 外部記憶装置を 接続してください。	外部記憶装置が正しく接続されていること、外部記憶装置に CD/DVD などのメディアがセットされていること、接続した機器が本製品に対応していることを確認してください。 また、データの読み込みに時間がかかることがあるため、30 秒程度放置してください。 動作確認済みの機器については、ホームページをご覧ください。 < http://www.epson.jp >
	保存先の容量が 不足しています。 保存を中止します。	十分な空き容量のあるメディアをセットし、再度保存を実行してください。 ☞ 本書 88 ページ「メモリカードのデータを外部記憶装置に保存する」
	接続された USB 機器には 対応していません。 マニュアルをご覧ください。	本製品に対応していない外部記憶装置が接続されています。動作確認済みの機器については、ホームページでご確認ください。< http://www.epson.jp >
	外部記憶装置を認識 できませんでした。 マニュアルをご覧ください。	
フレーム	フレームデータの 読み込みに失敗しました。 フレーム更新を中止します。 詳しくはマニュアルをご覧 ください。	フレームデータを読み込んでいるときに外部記憶装置を取り外したり、本製品に振動を与えるなどすると、正常に読み込めないことがあります。再度、フレームデータを読み込んでください。

	エラーメッセージ	対処方法
フレーム	フレームデータの書き込みに失敗しました。フレーム更新を中止します。詳しくはマニュアルをご覧ください。	フレームデータを書き込んでいるときに、本製品に振動を与えるなどすると、正常に書き込めないことがあります。再度、フレームデータを読み込んでください。 それでも同じエラーが発生するときは、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
Bluetooth関係	Bluetooth ユニットを正常に認識できません。接続し直してください。	Bluetooth ユニットを装着し直してみてください。 ☞ 本書 78 ページ「Bluetooth でワイヤレス印刷 < Bluetooth ユニットー別売ー >」
	データサイズが大き過ぎます。受信を中止します。	送信可能な画像数・サイズを超えていないこと、お使いの Bluetooth 対応製品の規格に本製品が対応していることを確認してください。同じ Bluetooth 対応の製品でも、対応している規格（プロファイル）が異なると印刷はできません。 ☞ 本書 78 ページ「本製品と通信が可能な製品」
	データの内容が複雑すぎるため印刷できません。	
	データ形式が正しくありません。受信を中止します。	
	データの内容に誤りがあるため印刷できません。	
バッテリ関係	バッテリ温度が異常です。電源をオフにして30 分以上放置してください。	バッテリの温度が異常に上昇、もしくは低下しています。室温で 30 分以上放置し、正常な温度になってからご使用ください。
	バッテリ残量がありません。AC アダプタを接続してください。	バッテリの残量が不足しています。AC アダプタを使用してください。 ☞ 本書 145 ページ「充電方法」
	バッテリ駆動では外部記憶装置への保存はできません。AC アダプタを接続してください。	AC アダプタを使用してください。
	バッテリセット時にエラーが発生しました。お買い上げの販売店またはエプソン修理センターまでご連絡ください。	プリンタ側がバッテリを正常に認識できない状態です。再度バッテリのセットをやり直してください。 それでも同じエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

＊１：エプソンの純正インクカートリッジの型番。

☞ 本書巻末「消耗品とオプション製品について」

＊２：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品。

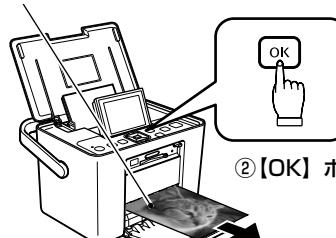
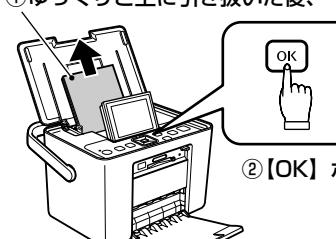
＊３：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インクパッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。
なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

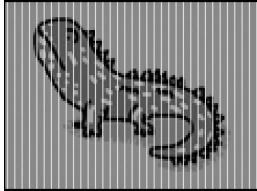
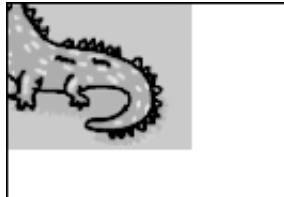
電源 / 操作パネルのトラブル

トラブル状態	対処方法
電源がオンにならない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めになっていないかをご確認ください。 ● コンセントに電源はきていますか？ ほかの電気製品の電源プラグをコンセントに差し込んで電源が入るかをご確認ください。ほかの電気製品の電源が入る場合は、本製品の故障が考えられます。
液晶ディスプレイが消えてしまった	● 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。 【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。 ※本製品は、13 分以上印刷やパネル操作を行わないと、画面が消えて真っ暗になります（このとき、電源ランプは点灯しています）。ただし、以下の場合はスリープモードになりません。 ・ プリンタが動作しているとき（印刷時、保存時、ノズルチェック等） ・ バッテリを充電しているとき ・ エラーが表示されているとき

給紙 / 排紙のトラブル

トラブル状態	対処方法
紙送りがうまくできない	● 用紙のセット方法は正しいですか？ 以下の項目をチェックしてください。 ・用紙の端をよく揃えましたか？ ・用紙を縦方向にセットしていますか？ ・セットしている用紙の量が多すぎませんか？ 正しいセット方法をご確認ください。 ☞ 本書 20 ページ「用紙のセット方法」 ☞ 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」 ● 本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？ 使用できない用紙を使うと、紙詰まりの原因になります。以下の項目をチェックしてください。 ・用紙にシワや折り目はないですか？ ・用紙は厚すぎたり薄すぎたりしませんか？ ・用紙が湿気を含んでいませんか？ ・用紙が反っていませんか？ 使用できる用紙をご確認ください。 ☞ 本書 20 ページ「用紙をセットする前に」 ● 本製品は水平な場所に設置されていますか？ 以下の場合は、本製品の内部機構に無理な力がかかって歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。 ・設置場所が水平ではない ・設置場所と本製品の間に何か物が挟まれている ・本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出している また、一見すると水平に見える場所でも実際は接地が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。接地面が水平であること、すべての脚が正しく接地していることをご確認ください。 ● 一般の室温環境下で使用されていますか？ 一般の室温環境下（室温：15 〜 25 度、湿度：40 〜 60%）以外で使用した場合は、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

トラブル状態	対処方法
紙送りがうまくできない	● 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが付属している場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞ 本書 104 ページ「紙詰まりを防ぐ」－「クリーニングシートを通紙する」 ● パソコンから郵便光沢ハガキまたは郵便ハガキ（インクジェット紙）を印刷していませんか？ これらの用紙で紙送りがうまくできないときは、以下をご覧ください。 ☞ 本書 21 ページ「用紙をセットする前に」－「郵便光沢ハガキをうまく給紙できないときは」
用紙が詰まった	● 以下の手順で詰まった用紙を取り除き、エラーを解除してください。 ・排紙トレイ側で用紙が詰まっている場合 ①ゆっくりと手前に引き抜いた後、 ②【OK】ボタンを押します。 ・給紙口側で用紙が詰まっている場合 ①ゆっくりと上に引き抜いた後、 ②【OK】ボタンを押します。

印刷品質 / 結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い • **かすれる、スジや線が入る** • **シマシマになる** ・**ぼやける、にじむ、濃い** • **色合いがおかしい** • **印刷されない色がある** • **色にムラがある**	● プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？ ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ☞ 本書 106 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ● インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。 ☞ 本書巻末「消耗品とオプション製品について」 ● 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。 開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。 ● プリントヘッドの印刷位置がズレていませんか？ 高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。その際、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。 ギャップ調整機能を使って、印刷位置のズレを修正してください。 ☞ 本書 109 ページ「ギャップ調整」 ● 用紙の裏面に印刷していませんか？ 用紙の裏面に印刷すると、印刷結果がにじんだり、ベタつきます。用紙の裏表をご確認ください。 ☞ 本書 23 ページ「印刷できる用紙」

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>印刷面がこすれる、汚れる
</td><td>● 反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙を使用していませんか？
反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙をこすする場合があります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。
なお、一部のエプソン製専用紙は、反りを修正する際に印刷面を傷つけてしまうおそれがありますので、以下のページを確認してから、反りを修正してください。
本書 20 ページ「用紙のセット方法」
● 専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？
専用紙は普通紙などと比べてインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。
本書 105 ページ「乾燥方法」</td></tr>
<tr><td>印刷位置がずれる、はみ出す、余白ができる
</td><td>● 使用した用紙のサイズと、メニューで設定した用紙サイズは同じですか？
実際に使用する用紙のサイズと、メニューの［用紙サイズ］の設定が異なると、写真の左右辺、下辺に余白ができることがあります。設定を合わせてください。
本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」
● 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？
一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。
本書 20 ページ「用紙のセット方法」</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
フチなし印刷ができない	● ［用紙 / レイアウト］の設定で、フチなし印刷をするように設定しましたか？ レイアウトの設定を［1 面フチなし］に設定して印刷してください。 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」 ● 規格サイズ*よりも長さが短い用紙を使っていませんか？ 規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、本製品は用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。規格サイズの用紙をお使いください。 ＊：ハガキ：100 × 148mm/L 判：89 × 127mm KG：101.6 × 152.4mm/ カード：54 × 86mm ハイビジョンサイズ：102 × 181mm ● 元の写真データに余白が入っていませんか？ 元の写真データをご確認ください。 なお、画像の縦横比を調整するために、デジタルカメラなど（データを送信する機器）で自動的に余白が付加される場合もあります。
フチなし印刷時に写真の端が切れて印刷される	● フチなし印刷は、原稿や写真データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。 本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。 なお、はみ出し量の調整は以下をご覧ください。 本書 98 ページ「フチなしはみ出し量を調整する」 印刷される部分 印刷されない部分

トラブル状態	対処方法
写真がきれいに印刷できない • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	● 写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？ デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。 画像サイズに適した印刷サイズは以下のとおりです。

デジタルカメラの画素数	標準的な画像サイズ（ピクセル）	印刷サイズの目安	
		カード	L 判
約 130 万画素	1280 × 1024	◎	◎
約 200 万画素	1600 × 1200	□	◎
約 300 万画素	2048 × 1536	□	◎
約 400 万画素	2240 × 1680	□	◎
約 500 万画素	2560 × 1920	*	□
約 600 万画素以上	2816 × 2120	*	□

◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
*：良好な印刷結果が得られるが、印刷結果向上のためにはこれほど多くの画素は必要なし。

バッテリに関するトラブル

トラブル状態	対処方法
バッテリ残量がすぐになくなってしまう	● 使用する前に充電しましたか？ プリンタを使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをおすすめします。 ● バッテリが低温の状態でお使いではありませんか？ バッテリの特性上、十分に充電された状態でも、バッテリが低温になると使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて温めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないようご注意ください。 ● 低温または高温の場所で充電しませんでしたか？ 充電は、周囲の温度が 10℃～ 35℃の場所で行ってください。低温または高温の場所で充電すると、十分な充電ができなかったり、バッテリの劣化につながることがあります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。 新しいバッテリをお買い求めください。
バッテリが温かくなる	● 充電直後または使用直後ではありませんか？ 充電直後や使用直後はバッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
プリンタの電源がオンにならない（電源ランプが一瞬点灯して消えてしまう）	● バッテリは充電されていますか？ お使いいただく前にはバッテリを充電してください。 ● バッテリをプリンタにしっかりとセットしましたか？ バッテリが正しくセットされていないと正常に動作しません。バッテリをプリンタから取り外し、セットし直してください。 ☞ 本書 142 ページ「バッテリ（別売）のセット / 取り外し方法」

トラブル状態	対処方法
自動的に電源がオフになってしまった	● 何も操作をしない状態が 15 分以上続いていませんでしたか？ バッテリ使用時に、何も操作しない状態が約 15 分続くと自動的に電源が切れ、バッテリの無駄な消費を防ぎます。ただし、以下のときにはオートパワーオフ機能は動作しません。 ・プリンタにメモリカードがセットされ、かつパソコンに接続されているとき。 ・エラーが表示されているとき。

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
メモリカードが認識されない	● メモリカードをセットしてから認識されるまでに時間がかかることがあります。 メモリカードを取り出さずに、しばらくお待ちください。 ● メモリカードは正しくセットされていますか？ メモリカードのセットが浅すぎたり、セットの向き（表裏）が間違っていると認識されません。正しくセットされていることを確認してください。 本書 24 ページ「メモリカードのセット方法」
メモリカードが取り出せない	● カードアダプタが必要なメモリカードに、アダプタを装着せずに本製品にセットしませんでしたか？ アダプタが必要なメモリカードにアダプタを装着せずにセットすると、取り出せなくなることがあります。 電源をオフにして、本製品を傾けてください。メモリカードがメモリカードスロットから落ちてくることがあります。 それでもトラブルが解決しない場合は、エプソン修理センターへお問い合わせください。 本書裏表紙「本製品に関するお問い合わせ先」
ヘッドクリーニングが動作しない	● 本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。 また、インクがないときや残り少ないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 117 ページ「エラー表示一覧」 本書 111 ページ「インクカートリッジを交換する」
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	● 高温によるプリンタ内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*に、プリンタの動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなった場合は、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。それでも回復しない場合は、電源をオフにして 3 時間程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※ 印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ＊： 30 分以上、印刷し続けている状態（時間は印刷状況によって異なります）。

トラブル状態	対処方法
排紙トレイが開かない / 閉まらない	● メモリカード取り出しボタンが飛び出た状態のままになっていませんか？ メモリカード取り出しボタンが飛び出ているときは、奥まで押し込んでから排紙トレイを閉めてください。 ☞ 本書 27 ページ「メモリカードの取り出し」 ● 排紙トレイの右上突起部を押していますか？ 排紙トレイを開閉するときは、排紙トレイの右上部分にある小さなボタンを押してください。 ☞ 本書 22 ページ「用紙のセット」手順 2
印刷したい写真が表示されない	● メモリカードと外部記憶装置を同時にセットしていませんか？ 本製品に最初にセットした機器に保存されている写真を読み込みます。［写真の読み込み元を変更］メニューで印刷したい写真が保存されている機器を選択してください。 ☞ 本書 93 ページ「写真の読み込み元を変更する」
メモリカードのアクセスランプが点灯にならない（点滅したまま）	● 表示しようとしている写真の数が多くありませんか？ たくさんの写真を早く表示するための処理をしています。写真の数が多い場合、この処理に非常に時間がかかることがあります。 この状態を解除するには、【表示切替】ボタンを押して 16 面表示にしてください。ただし、写真を早く表示するための処理を途中で終了させてしまうため、16 面以外の表示に切り替えたときに、再び処理に時間がかかります。
写真を選ぶ画面で写真が「？」で表示される / 写真が印刷されない・空白になる	● 本製品が対応していないデータではありませんか？ 以下のようなデータがメモリカードに入っている場合、本製品では表示できないため、「？」というアイコンが表示されます。 ・ 画像サイズが小さすぎるとき ・ 画像サイズが大きすぎるとき ・ パソコンなどで保存されたため、Exif 情報を持たない画像のとき ・ 画像ファイルでないとき 上記の非対応データを含むデータを 2 面などの多面レイアウトで印刷すると、非対応データは空白として印刷されます。また、すべての写真を印刷するとき、1 面レイアウトを設定していると、非対応データだけは印刷されません。 本製品が対応している写真データをご確認ください。 ☞ 本書 149 ページ「対応画像ファイル」

パソコンから印刷できない

パソコンから印刷できないトラブルでの、最も多い原因の対処方法を以下に記載しています。まずはこれを確認してみましょう。
それでもトラブルが解決しないときは、パソコンでの印刷ガイド（電子マニュアル）をご覧ください。
『パソコンでの印刷ガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」

プリンタドライバのインストール状態を確認

Windows 環境でお使いの場合には、プリンタドライバ（印刷を行うために必要なソフトウェア）が正しくインストールされていない、または印刷先のポートが正しく設定されていない可能性があります。
以下の手順でプリンタドライバのインストール状態と、ポートの設定状態を確認してください。

■プリンタドライバのアイコンを確認

1 USB ケーブルで本製品とパソコンをしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを開きます。

Windows Vista の場合
[スタート] － [コントロールパネル] － [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順にクリックします。
Windows XP の場合
[スタート] － [コントロールパネル] － [プリンタとその他のハードウェア] － [プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows 2000 の場合
[スタート] － [設定] － [プリンタ] の順にクリックします。

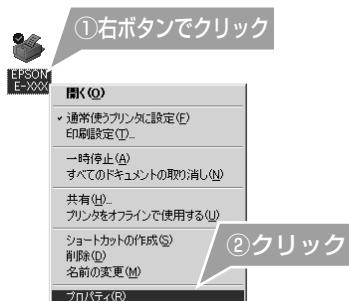
3 ［E-530］のアイコンがあるかを確認します。

アイコンがない場合は、プリンタドライバが正常にインストールされていません。
ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 137 ページ「ドライバの再インストール」

■印刷先のポートの設定を確認

1 ［E-530］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

Windows XP / Windows Vista の場合

Windows 2000 の場合

2 ポートの設定を確認します。

［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON E-530］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

困ったときは（トラブル対処方法）

USB ポートが選択されている

複数の USB ポート（[USBxxx EPSON E-530]）が表示されている場合は、別の USB ポートを選択して印刷をお試しください。それでも印刷できない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

⇩

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 137 ページ「ドライバの再インストール」

USB ポート以外が選択されている

USB ポート（[USB] と [EPSON E-530] が表示されているポート）を選択し、印刷ができるかどうかを確認してください。

⇩

印刷できなかった場合は、ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 137 ページ「ドライバの再インストール」

USB ポートがない

USB ポート（[USB] と [EPSON E-530] が表示されているポート）がない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

⇩

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 137 ページ「ドライバの再インストール」

!重要

- [ポートの追加] によるポートの設定は行わないでください。

ドライバの再インストール

前項を確認しても印刷できないときは、プリンタドライバをインストールし直してください。

■プリンタドライバの削除

インストールされているドライバを削除します。

< Windows Vista >
[スタート] − [コントロールパネル] の順にクリックし、[プログラム] の [プログラムのアンインストール] をクリックします。削除するドライバをクリックして [アンインストール] をクリックします。
< Windows XP >
[スタート] − [コントロールパネル] の順にクリックし、[プログラムの追加と削除] をクリックします。削除するドライバを選択して [削除] をクリックします。
< Windows 2000 >
[スタート] − [設定] − [コントロールパネル] の順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。[プログラムの変更と削除] をクリックして、削除するドライバをクリックし、[追加と削除] をクリックします。

■再インストール

付属の『ソフトウェア CD-ROM』からインストールする場合

☞ 本書 86 ページ「インストールの手順」

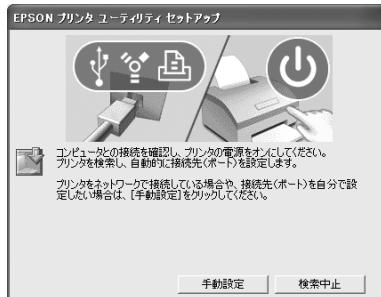
エプソンのホームページからプリンタドライバをダウンロードしてインストールする場合

1 以下のホームページにアクセスし、[ドライバ・ソフトウェアのダウンロード] をクリックします。

< http://www.epson.jp/support/ >

2 製品名・お使いの OS を選択して、ドライバをダウンロードし、インストールします。

詳しくは、ダウンロードページの「ダウンロード方法・インストール方法」を必ずご確認ください。

- インストール時に以下の画面が表示されたときは、本製品の電源をオンにしてください。

なお、[手動設定]・[検索中止] をクリックしたり、電源をオンにしなかったりしたときは、接続先（ポート）の設定を確認してください。

本書 134 ページ「印刷先のポートの設定を確認」

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

■マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に付属しておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
< http://www.epson.jp/support/ >

故障かな？と思ったら（お問い合わせの前に）

■お問い合わせ前の確認事項

必ず以下のトラブル対処方法をご確認ください。
本書 115 ページ「困ったときは（トラブル対処方法）」
『パソコンでの印刷ガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」

それでもトラブルが解決しないときは、以下の事項をご確認の上、お問い合わせください。

①本製品の型番	E-530S/E-530C/E-530P	
②製造番号	製品に貼られているラベルに記載されています。 EPSON ■■■■■ 製造番号 *XXXXXXXXX* 製造番号	
③どのような操作	□メモリカードから印刷 □外部記憶装置から印刷 □その他（　　　　　　）	□パソコンから印刷
④エラー表示	□液晶ディスプレイ メッセージ内容：	□パソコン画面
⑤用紙の種類	□写真用紙　□ハガキ	□その他（　　　　　）
⑥用紙のサイズ	□ハガキ　□Ｌ判	□その他（　　　　　）

■お問い合わせ窓口

本製品に関するお問い合わせ先

カラリオインフォメーションセンター
本書裏表紙「本製品に関するお問い合わせ先」

修理 / アフターサービスについて

■保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。

故障の状況によっては弊社の判断により、製品本体を、同一機種または同等仕様の機種と交換等させていただくことがあります。

なお、同等機種と交換した場合は、交換前の製品の付属品や消耗品をご使用いただけなくなることがあります。

※ 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

■保守サービスに関しての受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

・ お買い求めいただいた販売店

・ エプソン修理センター（本書裏表紙の一覧表をご覧ください）

受付日時：月曜日〜金曜日（土日祝日・弊社指定の休日を除く） 9：00 〜 17：30

■保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	・ 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・ 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

本製品を持ち運ぶときは

1 本製品からメモリカードや外部記憶装置を取り外し、用紙を取り除きます。

2 電源をオフにします。

3 パネルカバーと排紙トレイを閉じます。

4 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを外します。

パソコンと接続している場合は、ケーブルを取り外します。

5 取っ手を持って持ち運びます。

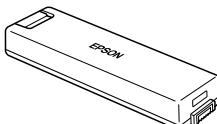
!重要

- 直射日光の当たる場所、暖房器具に近い場所、自動車内などの高温になる場所に放置しないでください。本体が変形したり、インク漏れの原因になることがあります。
- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- 保護材の取り付け時、輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。インク漏れの原因になります。
- 持ち運びの際には、振り回したりぶつけたりしないようにご注意ください。

参考

- 輸送（郵送など）する場合はプリンタを衝撃などから守るために保護材を取り付け、水平に梱包箱に入れて輸送してください。
- 輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞ 本書 106 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」
- 輸送時にインクカートリッジに衝撃が加えられると、輸送後に本製品がインクカートリッジを認識できなくなることがあります。このときは、インクカートリッジをセットし直してください。

バッテリ（別売）のセット / 取り外し方法

オプションのリチウムイオンバッテリ（MEALB2）を使うと、AC アダプタを接続しなくても印刷することができます。バッテリをご使用になる前には、必ずバッテリの取扱説明書をお読みください。

リチウムイオンバッテリ
（型番：MEALB2）

⚠警告	・本製品に適合しないバッテリのご使用は爆発の危険性があります。 ・エプソン純正品以外のバッテリは、弊社による安全上の確認ができておりません。純正品のご使用をお勧めします。なお、エプソンが指定する純正品以外のバッテリに起因する故障、爆発、発火等の事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、保証期間内であっても有償修理となります。

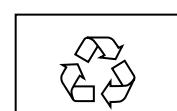
バッテリ使用上のご注意

- バッテリは購入時には充電されていませんので、お使いいただく前に必ず充電してください。
- プリンタを使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをお勧めします。
- バッテリの特性上、十分に充電された状態でも、バッテリが低温になると使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて温めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
  バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
- 充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、周囲の温度が 10℃～ 35℃の場所で行ってください。低温または高温の場所で充電すると、十分な充電ができなかったり、バッテリの劣化につながることがあります。
- 十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、過放電を避けるためプリンタからバッテリを取り外して保管してください。また、バッテリは高温の場所や湿度の高い場所を避けて保管してください。

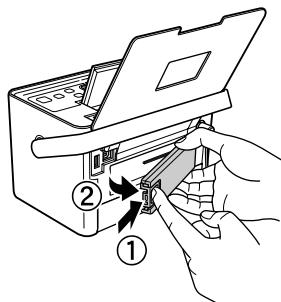
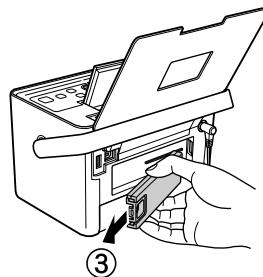
■バッテリの回収について

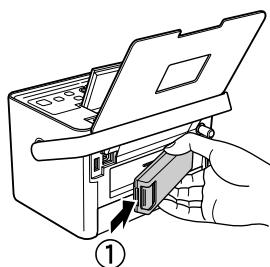
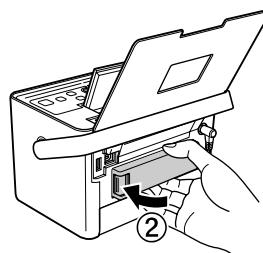
不要になったバッテリは 、捨てないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。なお、バッテリパックは＋極、－極の金属端子部をテープなどで絶縁し、分解せずにリサイクル箱へお出しください。

詳細については、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

＜ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html ＞

Li-ion

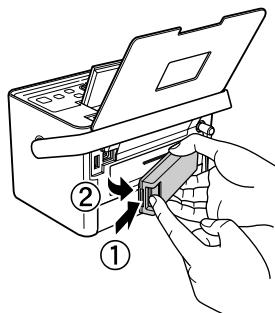
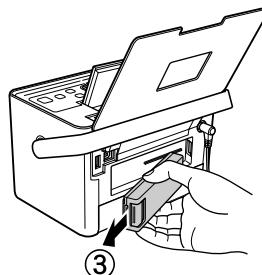
バッテリのセット

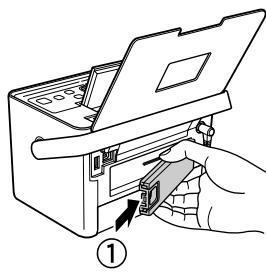
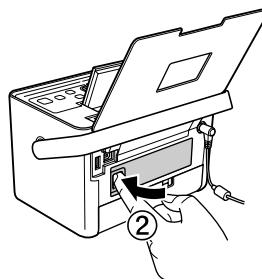
1 電源をオフにして、バッテリカバーを取り外します。

①ロックを外し、
②バッテリカバーを手前に引く

③バッテリカバーを取り外す
※取り外したバッテリカバーは紛失しないよう保管してください

2 バッテリをセットします。

①バッテリの金属端子側を右側に向け、プリンタに引っかける

②カチッというまで押し込む

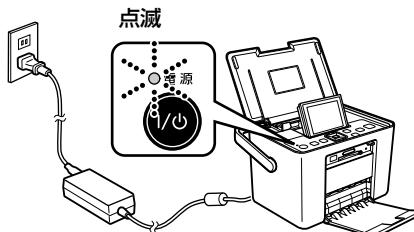
バッテリの取り外し

本製品を使用しないときは、バッテリを取り外しておくことをお勧めします。

1 バッテリを取り外します。

①ロックを外し、
②バッテリを手前に引く

③バッテリを取り外す

2 バッテリカバーを取り付けます。

①バッテリカバーの突起側を引っかける

②カチッというまで押し込む

充電方法

本製品にバッテリを取り付け、AC アダプタを接続することで充電ができます。

参考

バッテリの充電状態（残量）は以下の方法で確認することができます。
電源オフ時：充電中は電源ランプが点滅し、充電が完了すると電源ランプが消灯します。
電源オン時：液晶ディスプレイ右上にアイコンが表示されます。

アイコン	状態
	バッテリ残量が 81 ～ 100% です。
	バッテリ残量が 41 ～ 80% です。
	バッテリ残量が 21 ～ 40% です。
※赤色点灯	バッテリ残量が 11 ～ 20% です。
※点滅	バッテリ残量が 6 ～ 10% です。
	AC アダプタが接続されていて、バッテリは満充電状態です。
※点滅	AC アダプタが接続されていて、バッテリは充電中です。

- 充電時間は最大約 2 時間半です。
- メモリーカード印刷時の印刷可能時間は約 100 分、印刷可能枚数は L 判で約 120 枚、KG サイズで約 100 枚です。

※ 印刷できる時間や枚数はメモリカードの種類やデータのサイズ、その他の状況によって異なります。上記は次の条件で測定したときのおよその数値です。
バッテリ：新品のバッテリを満充電で使用
気温：25℃
印刷方法：メモリースティックから写真用紙＜光沢＞ KG サイズに連続印刷

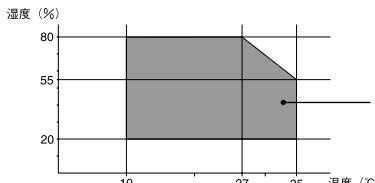
■オートパワーオフ機能について

バッテリ使用時に、何も操作しない状態が約 15 分続くと自動的に電源が切れ、バッテリの無駄な消費を防ぎます。ただし、以下のときにはオートパワーオフ機能は動作しません。

- プリンタにメモリカードがセットされ、かつパソコンに接続されているとき。
- エラーが表示されているとき。

製品仕様

■総合仕様

保管時の環境	温度：－ 20℃～ 40℃ 湿度：5%～ 85%（非結露）
動作時の環境	温度：10℃～ 35℃ 湿度：20%～ 80%（非結露）
製品質量	約 2.4kg（インクカートリッジ、AC アダプタを除く）
製品外形寸法 ※ゴム足、背面突起部、取っ手を含む。	幅 231mm ×奥行き 169mm ×高さ 149mm（収納時*） 幅 231mm ×奥行き 344mm ×高さ 266mm（使用時） ＊：取っ手を後ろに倒した状態
ノズル配列	90 ノズル× 4 色（イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）
最高解像度	5760 *1 × 1440dpi（パソコン印刷時のみ） 720 *2 × 720dpi（メモリカード印刷時） ＊ 1：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。 ＊ 2：最小 1/720 インチのドット間隔で印刷します。
最小ドットサイズ	2pl（ピコリットル）
インターフェイス	USB2.0 ハイスピード× 2(PC 接続用､外部記憶装置 /Bluetooth ユニット接続用および PictBridge 用)、IrDA（Ver.1.3 準拠）

■電気関係仕様

＜ AC アダプタ電気仕様＞

型名	A381H
定格電圧	AC100V
定格周波数	50 − 60Hz
定格電流	0.8 − 0.4A
定格電力	42W
出力	DC20V、1.68A

＜プリンタ電気仕様＞

<table>
<tr><td colspan="2">DC 定格入力電圧
（バッテリ使用時）</td><td colspan="4">DC14.8V</td></tr>
<tr><td colspan="2">DC 定格入力電流
（バッテリ使用時）</td><td colspan="4">1.1A</td></tr>
<tr><td colspan="2">DC 定格入力電圧
（AC アダプタ使用時）</td><td colspan="4">DC20V</td></tr>
<tr><td colspan="2">DC 定格入力電流
（AC アダプタ使用時）</td><td colspan="4">1.0A（充電時は 1.6A）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">消費電力</td><td rowspan="2">定格入力電流</td></tr>
<tr><td>連続印刷時</td><td>スリープモード</td><td>電源オフ</td></tr>
<tr><td>バッテリ
（別売）
非充電時</td><td>AC100V
入力</td><td>23W</td><td>5.0W</td><td>0.4W</td><td>0.4A
（最大 0.5A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ
（別売）
充電時</td><td>AC100V
入力</td><td>32W</td><td>25W</td><td>22W</td><td>0.7A
（最大 0.8A）</td></tr>
</table>

■対応メモリカード

メモリカード	規格上の最大容量
CompactFlash（3.3V、メモリカードのみ）	－
Microdrive	－
Memory Stick（メモリーセレクト機能付き含む）	128MB
Memory Stick Duo＊	128MB
MagicGate Memory Stick （著作権保護機能は非サポート）	128MB
MagicGate Memory Stick Duo＊ （著作権保護機能は非サポート）	128MB
Memory Stick PRO （著作権保護機能、高速転送機能は非サポート）	32GB
Memory Stick PRO-HG Duo＊	32GB
Memory Stick PRO Duo＊ （著作権保護機能、高速転送機能は非サポート）	32GB
Memory Stick micro＊	32GB
SD メモリーカード	2GB
SDHC メモリーカード	32GB
miniSD カード*	2GB
miniSDHC カード*	32GB
microSD カード*	2GB
microSDHC カード*	32GB
MultiMedia Card	4GB
MMC Plus	2TB
MMC mobile（RS-MMC）＊	4GB
MMC micro＊	4GB
xD-Picture Card ™ xD-Picture Card ™ Type M xD-Picture Card ™ Type M+ xD-Picture Card ™ Type H	2GB

＊：必ず専用アダプタを使用して、本製品にセットする。

※上記は 2008 年 6 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページの「よくあるご質問（FAQ）」でご案内しています。< http://www.epson.jp/faq >

● 対応電圧

3.3V 専用または 3.3V/5V 兼用、供給電圧は 3.3V のみ対応

※ 3.3V/5V 兼用メディアへは 3.3V を供給　※メモリカードへの供給電流は最大 500mA

※ 5V タイプのメモリカードは非サポート

● 対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF＊[1] Version1.0 または 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF＊[1] Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG＊[2] 形式
有効画像サイズ	横 80 ～ 9200 ピクセル、縦 80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	9990 個＊[3]

＊ 1：DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。

＊ 2：Exif Version2.21 準拠。

＊ 3：一度に表示できるファイル数は 999 個です。999 個を超えたときはグループ単位で表示します。

■ダイレクト印刷仕様

デジタルカメラから USB 接続でダイレクトプリントを行う際は、以下の点にご注意ください。

対応規格

- PictBridge

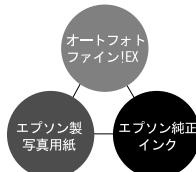
注意

- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」＊[1] などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません）。
- セピアまたはモノクロで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。デジタルカメラ側で「プリント効果：イメージオプティマイズ」＊[2] の設定ができる場合は、「標準設定」＊[1] に設定してください。
- TIFF 画像の印刷はできません。
- 1.8m 以下の長さの USB ケーブルを使用することをお勧めします。

＊ 1：本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。
例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

＊ 2：色合いなどの調整をする設定項目（設定項目名はデジタルカメラによって異なります。
例：「プリント効果：イメージオプティマイズ」「印刷補正」など）

Epson Color について

エプソンお薦めの写真品質

Epson Color とは、エプソンお薦めの写真品質のことです。人物の顔を自動判別し、肌色を中心に写真の色合いをきれいに自動補正する「オートフォトファイン !EX＊」と耐オゾン性、耐光性に優れる「エプソン純正インク」、そして美しい仕上がりを誇る「エプソン製写真用紙」が組み合わさることで実現されます。

＊：オートフォトファイン !EX は人物写真だけでなく、風景写真もより鮮やかな色合いに自動補正します。

参考

- 補正や加工は印刷時に処理されるだけで、データそのものは補正 / 加工されません。
- オートフォトファイン !EX は、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
- 印刷する画像に Exif Print の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた画像補正を行います。

Epson Color で印刷するためには

Epson Color で印刷するためには、Epson Color 対応用紙に印刷してください。

Epson Color 対応用紙

- 写真用紙クリスピア＜高光沢＞
- 写真用紙エントリー＜光沢＞
- 写真用紙＜光沢＞
- 写真用紙＜絹目調＞
- 写真用紙＜絹目調＞はがき＊
- 「インクカートリッジ＋写真用紙セット」の写真用紙

＊：宛名面はパソコンからの印刷にのみ対応

印刷手順

① 【メニュー】ボタンを押して [印刷設定] － [自動画質補正] を選択し、[オートフォトファイン !EX] を選択します。

☞ 本書 46 ページ「画質を自動補正して印刷する」

② 本製品に Epson Color 対応用紙をセットし、［用紙サイズ・種類］で対応の用紙を選択すれば、Epson Color で印刷されます。

☞ 本書 34 ページ「用紙 / レイアウトの設定を変更する」

以上で、Epson Color の説明は終了です。

画面に表示されるアイコンについて

以下の通り、設定の内容などを表すアイコンが画面に表示されることがあります。

写真を選ぶ画面

印刷プレビュー画面

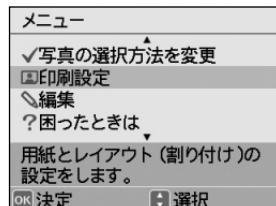
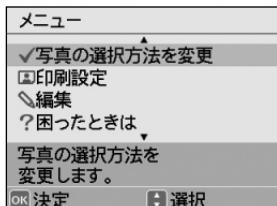
表示されるアイコンの意味は以下の通りです。

アイコン	アイコンの意味	参照先
	フレームが付けられている写真	本書 58 ページ
	ズームアップ（拡大）されている写真※	本書 45 ページ
	赤目補正がオンになっている写真※	本書 50 ページ
AUTO	自動画質補正が設定されている写真※	本書 46 ページ
	画質調整（明るさ、鮮やかさ、シャープネス）が設定されている写真※	本書 48 ページ
	日付印刷設定がオンになっている写真※	本書 44 ページ
	文字合成印刷がオンになっている写真※	本書 70 ページ
	補正モードが「オートフォトファイン！ EX」に設定されている写真※	本書 46 ページ
?	本製品が対応していないデータ	本書 132 ページ

※　印刷プレビュー画面で表示されます。用紙 / レイアウトの設定によっては、表示されない場合があります。

設定項目一覧

【メニュー】ボタンについて

操作パネルの【メニュー】ボタンを押すとメニュー画面が表示され、印刷の設定、本体の設定や調整ができます。

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示

②【▲】か【▼】ボタンで設定項目を選択
③【OK】ボタンで決定

メニュー項目一覧

■写真の選択方法を変更

設定項目	設定値の詳細	参照先
写真をすべて選択	本製品が読み込んでいるすべての写真を選択します。	本書 95 ページ
撮影日別で選択	特定の撮影日から写真を選択します。	本書 39 ページ
写真の読み込み元を変更	メモリカードと外部記憶装置を同時にセットしているとき、どちらから写真を本製品に読み込むかを選択します。 メモリカード、外部記憶装置	本書 93 ページ
フォルダから選択	本製品が読み込んでいる外部記憶装置のフォルダのうち、どのフォルダから写真を選ぶかを選択します。	本書 94 ページ
グループ変更	本製品では写真を一度に 1000 枚以上表示できないため、メモリカードなどのメディアに 1000 枚以上の写真がある場合、写真をいくつかのグループに分け、グループを選んで写真を表示します。 メディア内に別のグループがある場合、このメニューで別のグループを選び、写真を読み込むことができます。	本書 97 ページ

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

■印刷設定

設定項目	設定値の詳細	参照先
用紙サイズ	セットした用紙に合わせて用紙サイズを設定します。 L 判 KG サイズ ハガキ ハイビジョンサイズ カード フォトシール	本書 35 ページ
用紙種類	用紙の種類を設定します。 写真紙エントリー 写真用紙 写真紙クリスピア 郵便光沢ハガキ インクジェットハガキ	本書 35 ページ
レイアウト	用紙にどのような配置/面付けで印刷するかを設定します。 ※選択した用紙サイズ･種類によっては、表示されない（設定できない）レイアウトがあります。 1 面フチなし 1 面フチあり 上半分 2 面 4 面 8 面 16 面 証明写真 デジタルサイズ 20 面 インデックス（CD） 1 面（フリーカット） 2 面（フリーカット） 4 面（フリーカット） 9 面（フリーカット） 16 面（フリーカット） 16 面（ミニフォト）	本書 36 ページ

設定項目一覧（つづき）

設定項目	設定値の詳細	参照先
日付印刷設定	オンにすると、写真に日付を入れて印刷します。 オン、オフ	本書 44 ページ
自動画質補正	写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。 オートフォトファイン !EX、P.I.M.、なし	本書 46 ページ
補正モード	オートフォトファイン !EX の詳しい設定をします。 標準、人物、風景、夜景	本書 47 ページ
はみ出し設定	フチなし印刷時のはみ出し量を調整します。 標準、少ない、より少ない	本書 98 ページ
文字合成印刷	デジタルカメラで設定した文字情報を写真に入れて印刷するかどうかを設定します。 オン、オフ	本書 70 ページ
設定クリア	印刷設定を初期値に戻します。 ※印刷設定以外の項目（「編集」や印刷枚数の設定など）はクリアできません。	本書 102 ページ

■編集

設定項目	設定値の詳細		参照先
フレーム	フレームを合成する	写真にフレーム（枠）を合成して印刷します。	本書 58 ページ
	フレームを解除する	写真とフレームの合成を解除します。	
	フレーム更新	メモリカードなどに保存したフレームデータを、本製品の内蔵メモリに追加したり、内蔵メモリからフレームデータを削除したりします。	
飾り	飾りを合成する	写真に飾り（マークやスタンプなど）を合成して印刷できます。	本書 55 ページ
	飾りを解除する	写真と飾りの合成を解除します。	
写真を回転	写真を回転して液晶ディスプレイに表示します。 回転なし、右 90 度回転、180 度回転、左 90 度回転		本 書 100 ページ
カラー設定	写真に色調の効果を加えて印刷します。 なし、モノクロ、セピア		本書 48 ページ
赤目補正	人物の赤目を補正して印刷します。 オン、オフ		本書 50 ページ
明るさ	写真の明るさを調整して印刷します。 より明るく、明るく、標準、暗く、より暗く		本書 48 ページ
鮮やかさ	写真の鮮やかさを調整して印刷します。 より鮮やか、鮮やか、標準、くすんだ、よりくすんだ		本書 48 ページ
シャープネス	写真のシャープさを調整して印刷します。 シャープネス強、シャープネス弱、標準、ソフトフォーカス弱、ソフトフォーカス強		本書 48 ページ

設定項目一覧（つづき）

■困ったときは

設定項目	設定値の詳細	
困ったときは	操作のポイントや説明を見ることができます。	
	印刷結果がおかしい	印刷がかすれる / スジが入る
		印刷の色合いがおかしい
		印刷がぼやける
	操作方法がわからない	カードのセット方法がわからない
		カードの取り出し方がわからない
		用紙のセット方法がわからない
		インクカートリッジを交換するには
		カードを間違えて入れてしまった

■バックアップ

設定項目	設定値の詳細	参照先
すべての写真	メモリカード内の写真のうち、現在読み込んでいるすべての写真を外部記憶装置に保存します。	本書 88 ページ
選択した写真	写真を選ぶ画面で選択した写真を外部記憶装置に保存します。	本書 88 ページ

■便利な機能

設定項目	設定値の詳細	参照先
お好み写真サイズ	自分で細かくサイズを指定して写真を印刷します。オリジナルサイズの証明写真を作るときなどに便利です。	本書 66 ページ
インデックス	本製品が読み込んでいるメディアの写真の一覧表を印刷します。	本書 65 ページ
ナチュラルフェイス	人物写真に小顔補正や美白補正の効果を加えて印刷します。	本書 51 ページ
スライドショー	本製品が読み込んでいるメディアの写真を一定時間で順次表示します。	本書 96 ページ

■プリンタのお手入れ

設定項目	設定値の詳細	参照先
ノズルチェック	目詰まり確認用のパターンを印刷します。	本書 106 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	本書 108 ページ

設定項目	設定値の詳細	参照先
ギャップ調整	印刷品質を高めるための調整を行います。	本書 109 ページ
インク残量確認	インクカートリッジのインク残量を表示します。	本書 111 ページ
クリーニングシート通紙	クリーニングシートを通紙します。	本書 104 ページ

■プリンタの設定

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定値の詳細</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>印刷プレビュー表示設定</td><td colspan="2">印刷プレビューの表示 / 非表示を設定します。
オン、オフ</td><td>本書 101 ページ</td></tr>
<tr><td>すべて印刷表示設定</td><td colspan="2">すべて印刷確認画面の表示 / 非表示を設定します。
オン、オフ</td><td>本書 101 ページ</td></tr>
<tr><td>設定継続画面の表示設定</td><td colspan="2">編集や印刷設定時に表示される、設定を続けるかどうかの確認画面の表示 / 非表示を設定します。
オン、オフ</td><td>本書 101 ページ</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール位置調整</td><td colspan="2">ミニフォトシールに印刷するときの位置調整を 0.5mm 単位で行います。
上 2.5mm ～ 0.0mm ～下 2.5mm
右 2.5mm ～ 0.0mm ～左 2.5mm</td><td>本書 43 ページ</td></tr>
<tr><td>外部機器印刷設定</td><td colspan="2">携帯電話 / デジタルカメラから印刷するときの印刷設定をします。
フレーム、カラー設定、赤目補正、明るさ、鮮やかさ、シャープネス</td><td>本書 73 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Bluetooth/ 赤外線通信
※ Bluetooth ユニット（別売）をセットするとすべての項目が有効となります。</td><td>BT 本体番号設定</td><td>Bluetooth の本体番号の設定をします。</td><td rowspan="5">本書 79 ～ 81 ページ</td></tr>
<tr><td>BT 通信モード</td><td>Bluetooth の通信モードを設定します。
パブリック、プライベート、ボンディング</td></tr>
<tr><td>BT 暗号化</td><td>オンにすると、通信の内容を暗号化できます。
オン、オフ</td></tr>
<tr><td>BT/ 赤外線通信パスキー設定</td><td>通信を暗号化したときや、他の Bluetooth 製品からの混信を防ぐときに使用するパスキーの設定をします。</td></tr>
<tr><td>BT デバイスアドレス表示</td><td>本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。</td></tr>
</table>

設定項目一覧（つづき）

設定項目	設定値の詳細	参照先
初期設定に戻す	各設定を購入時の状態に戻します。 ※ Bluetooth 各設定、ギャップ調整の値はリセットされません。	『楽ラク入門ガイド』21 ページ

索引

数字

アルファベット

五十音

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士写真フイルム株式会社の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Bluetooth は、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソン株式会社は、ライセンスに基づき使用しています。
EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framer は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
ミューパスは、株式会社サミーネットワークスの登録商標です。

Windows
• Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
• Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
• Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。
Mac OS
・本製品は、Mac OS X v10.3.9 以降に対応しています。
・本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理･保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。 本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること
次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理は有償で行います。

消耗品とオプション製品について

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう各種専用紙やオプションをご用意しております。よりきれいに印刷するために、エプソン純正インクカートリッジ、エプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

消耗品

●インクカートリッジ

インク カートリッジ	インク カートリッジ 大容量パック
型番：ICCL45	型番：ICCL45B
イメージ写真：パンダ	イメージ写真：パンダ

●インクカートリッジ＋写真用紙セット

インク カートリッジ ＆Ｌ判200枚 セット	インク カートリッジ 大容量パック＆ Ｌ判300枚 セット
型番：ICCL45V	型番：ICCL45BV
イメージ写真：パンダ	イメージ写真：パンダ

●エプソン製専用紙

☞ 本書23ページ「印刷できる用紙」

オプション

商品名	型番
リチウムイオンバッテリ	MEALB2
Bluetoothユニット	PMDBU3

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できないことがあります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

本製品のお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
【電話番号】　050-3155-8011
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く)
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5250へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070　・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
【電話番号】　050-3155-7150
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

○スクール(エプソン・デジタル・カレッジ)講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　大阪　TEL(06)6120-6057
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2007年9月現在)

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

エプソン販売株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ(IJP)　2008.06

muPass（ミューパス）は、㈱サミーネットワークスが開発した携帯電話の赤外線通信機能を使い、さまざまな機器に安全にデータを転送することができるビジネスプラットフォームです。

411560600